第39回全日本高校選手権大会

（男子）小禄 が初優勝 （女子）浦和実

第39回全日本高校選手権大会（昭和63年度全国高校総体）は、8月1日に開会式を行ない、2日から7日までの6日間、兵庫県加古川市で熱戦をくり広げた。

男子は、選抜大会準優勝の明星（東京）が初戦の2回戦で、長崎日大高の前に敗れ去るという波乱の幕明け。結局、混戦の中を抜け出してきたのは、選抜大会優勝の横浜商工（神奈川）と小禄（沖縄）の決勝対決となった。この両チームは、選抜大会でも準決勝で対戦、この時は横浜商工が後半逆転して、21―20と1点差の僅差で勝っている。その雪辱に燃える小禄は、立ち上がりから積極的なプレーを見せ、一方の横浜も一歩も譲らず、好ゲームを展開した。結局、今大会は小禄が終始先手を取って逃げ切り、見事初優勝、沖縄県に初の栄冠を持ち帰った。

女子も、力の接近した争いが展開されたが、決勝に勝ち残ったのは浦和実（埼玉）と川崎北（神奈川）という関東同士の、しかもどちらが勝っても初優勝という新鮮な顔合せとなった。関東同士で練習試合も行なっており、互いに手の中を知り合った者の対戦は、前半から女子の試合としては、激しい点の取り合いとなったが、浦和実が一歩リード。終盤のせり合いも勝って見事初優勝を飾った。

こうして男女とも初優勝という結果に終ったが、伝統校と新興校の対決はなかなか興味深く、今後とも各校のより一層の精進、健闘を期待したい。

1回戦

県岐阜商 30〔11−7, 19−7〕14 宮崎西
(岐阜)　　　　　　　　(宮崎)

〔戦評〕双方ともスローペースで相手の出方を見るが、前半中頃からペースをつかんだ県岐阜商が加点し、前半11対7で折り返した。
　後半に入り、リズムに乗った県岐阜商は速攻で加点、大差で終了した。(茨木)

〔県岐商〕	得		得	〔宮崎西〕
鬼頭	0	GK	0	藤田
佐藤	0	GK	0	倉中
草川	3	FP	2	温水
岡部	6	FP	1	黒木孝
堀	2	FP	6	横山
今瀬	4	FP	2	黒木博
竹岸	2	FP	2	木原
小牧	5	FP	0	古川
塚原	0	FP	0	樋口
井上	4	FP	1	中武
木下	3	FP	0	田村
纐纈	1	FP	0	櫛間
30	(0)	PT	(1)	14

(審・島田 後藤)

小松明峰 27〔13−10, 14−12〕22 古川商
(石川)　　　　　　　　(宮城)

〔戦評〕長身者をそろえた古川商は、立ち上がりロング、ポストで加点し、リードしたが、小松明峰のディフェンスがシフトを変えたことから攻めあぐむようになった。力の古川対スピードの小松明峰の戦いとなったが、苦しい態勢から打たされる古川のシュートを、小松明峰は速攻につなげ、点差を広げた。両チームともディフェンスに粘りが欠けた。(村尾)

〔明峰〕	得		得	〔古川商〕
藤島	0	GK	0	溝江
辻本	0	GK	0	佐藤
石井	3	FP	6	渡辺
北橋	8	FP	4	松浦
村本	7	FP	1	小野寺
金森	0	FP	3	後藤
菊谷	0	FP	0	小野
大壁	2	FP	0	石垣
二木	2	FP	2	横谷
魚川	5	FP	5	佐藤
中村	0	FP	0	鷺谷
小路	0	FP	1	原野
27	(3)	PT	(4)	22

(審・松原 武智)

桑名 13〔6−6, 7−4〕10 大分電波
(三重)　　　　　　　(大分)

〔戦評〕前半、大分電波は荻本のフェイントシュートを決めて先制するが、桑名もすぐに蛭川のフェイントシュートで同点とし、さらに得点を重ねて突き放しにかかるが、大分電波も粘り、後半15分まで1点を競うゲームが続いた。しかし、桑名はマンツーマンされていた蛭川がシュートを決めてチームのリズムを取り戻し、3点を連取して試合を決めた。(丸谷)

〔桑名〕	得		得	〔電波〕
古賀	0	GK	0	篠田
岡田	0	GK	0	後藤忠
梅山	4	FP	3	荻本
水谷	0	FP	0	平松
加藤	1	FP	2	後藤寛
山本	0	FP	1	妹尾
岩本	3	FP	3	幡東
本田	0	FP	0	入江
越智	0	FP	1	宿利
蛭川	4	FP	0	石本
三輪	1	FP	0	穴井
江頭	0	FP	0	宇多村
13	(1)	PT	(2)	10

(審・西岡 大原)

長浜北 18〔8−6, 10−9〕15 日大明誠
(滋賀)　　　　　　　　(山梨)

〔戦評〕立ち上がり両チームとも堅さが目立ち、なかなかペースに乗ることができなかった。10分過ぎから長浜北が堅い守りからの速攻などで徐々にペースに乗る。一方、日大明誠は最初ミスが目立ったが、徐々に落ち着きを取り戻し得意の個人技で追い上げ、結局、前半は8−6と長浜北の2点リードで終る。
　後半に入って、日大明誠が若月のミドルシュートなどで一気に追いつくが、長浜北も川瀬のポストシュートなどで突き放す。その後、日大明誠の個人技、長浜北のポストプレーと互いに持ち味を生かし、一進一退の攻防をくり広げるが、結局、長浜北が前半のリードを守り逃げ切った。(福井)

〔長浜北〕	得		得	〔明誠〕
森	0	GK	0	篠原
上田	0	GK	0	松本
川瀬	5	FP	5	福井
吉川	6	FP	0	川西
森田	2	FP	5	若月
馬場	1	FP	0	小沢
服部	2	FP	0	浅野
霜出	2	FP	0	栗林
浅尾	0	FP	1	奥津
城楽	0	FP	0	市川
伊吹	0	FP	4	井上
山村	0	FP	0	水越
18	(4)	PT	(0)	15

(審・茨木 辻)

市川 25〔9−5, 16−7〕12 盛岡一
(千葉)　　　　　　　(岩手)

〔戦評〕市川は3分、ペナルティーで先取、その後も速攻やポストシュートなどで加点。一方盛岡一は15分にポストからのシュートで得点するが、シュートミスが目立ち前半を終了。後半、盛岡一の八重樫の速攻でペースをとるかに見えたが、市川は10分過ぎより連続5得点をあげ試合を決めた。(夏目)

〔市川〕	得		得	〔盛岡一〕
小林	0	GK	0	高橋
浜松	0	GK	0	小倉
中野	8	FP	2	鈴江
坂井	1	FP	7	小向
佐藤	3	FP	2	八重樫
中井	0	FP	1	鈴木
戸崎	2	FP	0	高橋
塚越	5	FP	0	菊池
吉橋	2	FP	0	中村
川上	1	FP	0	工藤
武井	3	FP	0	米内
太田	0	FP	0	平沢
25	(4)	PT	(0)	12

(審・佐谷 村尾)

屋代 23〔8−6, 15−9〕15 東岡山工
(長野)　　　　　　　(岡山)

〔戦評〕東岡山工が開始直後サイドから先取点、4分後続いて加点して2−0。緊張が解けた屋代もようやく6分に得点、その後6点連取して逆転、東岡山工もがんばって反撃するが、前半は8−6と屋代のリードで終了。後半に入って、両チームに退場者が出てゲームがやや荒れ気味、結局、体力に勝る屋代がジワジワ差を広げて23−15で逃げ切る。(加藤)

〔屋代〕	得		得	〔東岡山〕
柳沢	0	GK	0	小橋
北村	0	GK	0	丸本
宮本	3	FP	4	河
渋沢	7	FP	1	岡崎
滝沢	0	FP	3	河本
小野	4	FP	1	島
竹田	1	FP	2	秋久
宮入	2	FP	0	長崎
北沢	6	FP	1	熊沢
笠井	0	FP	1	平井
鈴木	0	FP	2	渡辺
霜田	0	FP	0	小林
23	(0)	PT	(0)	15

(審・西岡 大原)

明石北 31〔15−8, 16−15〕23 吉井
(兵庫)　　　　　　　　(群馬)

〔戦評〕立ち上がり1歩先していた吉井であったが、地方の声援を受けた明石北は13分に甲斐のロングで同点に追いつき、その後吉井のミスをつき速攻、サイド、ポストシュートと加点し、前半を15−8で折り返した。後半に入り得点の取り合いとなったが、ミスの多い吉井に対する明石北の優位は変

〔明石北〕	得		得	〔吉井〕
王子	0	GK	0	秋山
高木	0	GK	0	神山
石戸	4	FP	0	飯塚
竹下	5	FP	4	黒沢
甲斐	8	FP	6	佐藤
平賀	4	FP	0	神保
的場	0	FP	3	引野
伊藤	5	FP	0	関口
貝田	3	FP	0	浅香
足立健	1	FP	6	神戸
足立政	0	FP	0	高木
岩田	1	FP	4	斉藤
31	(3)	PT	(2)	23

(審・福井)

らず、31—23で1回戦をものにした。（後藤）

桃山学院（大阪） 19 〔9—2、10—5〕 7 **聖光学院**（福島）

〔戦評〕前半、逃山の堅い守りに聖光は攻めあぐみ、逆に逃山のポストを使った攻めで加点していった。しかし、初戦のせいか両チームとも動きは今ひとつである。後半、逃山のGKの好守と速攻で着実に得点を加え、メンバーを替える余裕もあった。（佐谷）

〔聖光〕

	選手	得
GK	田中	0
	熊坂	0
FP	藤原	2
	佐藤和	2
	菅野	1
	八巻	0
	斉藤	0
	安彦	2
	柏倉	0
	金子	0
	渡辺	0
	佐藤正	0
PT	(0)	7

（審・松原、武智）

〔桃山〕

	選手	得
GK	吉田	0
	田端	0
FP	庄司	4
	中野	5
	芝本	0
	深江	1
	池田	3
	鴨谷	0
	藤井	0
	下山	5
	市原	1
	市村	0
PT	(4)	19

那賀（和歌山） 25 〔14—9、11—12〕 21 **高知東**（高知）

〔戦評〕那賀は、立ち上がりから中露を中心とした多数な攻めでポスト、サイドのずらし攻撃で加点していった。一方高知東は、ローリング攻撃などでカットインをねらうが、GKの好守で14—9と那賀のリードで終った。後半も那賀は速攻でリードを広げるが、高知東も速攻で追い上げる。結局、前半のリードを守り切った那賀が勝利を飾った。（浜田）

〔高知東〕

	選手	得
GK	山本	0
	芝	0
FP	楠瀬	7
	矢野	2
	上田	5
	日之裏	1
	宮地	0
	西尾	0
	中岡	1
	市川	0
	田川	2
	打井	2
PT	(3)	21

（審・八日市、加藤）

〔那賀〕

	選手	得
GK	中川	0
	正木	0
FP	中井	4
	中露	9
	鈴木	1
	古閑	6
	田宮	3
	飯野	0
	小嶋	0
	福岡	0
	笠中	0
	牧浦	2
PT	(1)	25

中京（愛知） 20 〔12—7、8—6〕 13 **函館有斗**（北海道）

〔戦評〕立ち上がり、中京の堅いディフェンスと中村のサイド、ポストシュート、また函館有斗は、中島のサイドシュートで反撃、両GKの活躍もあって、前半12—7で中京がリード、後半、両チーム点の取り合いとなったが、前半のリードを守った中京が20—13で逃げ切った。（井上）

〔有斗〕

	選手	得
GK	松	0
	越崎	0
FP	伊藤	1
	若佐	0
	大谷	0
	三橋	4
	山崎	2
	駒野	1
	中島	3
	岩崎	0
	和泉	1
	宮田	1
PT	(0)	13

（審・中川、岡本）

〔中京〕

	選手	得
GK	中野	0
	加藤	0
FP	嘉田	3
	中村	3
	山田	3
	広田	3
	光田	3
	垂見	1
	田口	0
	近藤	1
	古澤	2
	中井	1
PT	(4)	20

育英（兵庫） 31 〔16—11、15—10〕 21 **神埼農**（佐賀）

〔戦評〕育英は泉、松原を中心にセット攻撃、速攻が展開され、特に泉のカットインからのパスワーク、松原のミドル、スタンディングシュートは見事であった。神埼農も野中のミドルシュート、フォーメーションプレーと得点を重ねていったが、攻撃、防御とも上回る育英が勝利を手にした。（額田）

〔神埼農〕

	選手	得
GK	永原	0
	田中	0
FP	実松	0
	坂井	3
	篠原	3
	中村	3
	諸永季	1
	横尾	6
	野中	5
	田中	0
	諸永勇	0
	鶴田	0
PT	(2)	21

（審・秋永、武田）

〔育英〕

	選手	得
GK	有田	0
	清水	0
FP	井村	2
	泉	9
	松原	10
	枇榔	0
	紀	0
	森岡	1
	岩本	1
	横山	4
	伊藤	0
	治井	4
PT	(1)	31

尾道（広島） 29 〔16—5、13—5〕 10 **静岡農**（静岡）

〔戦評〕静岡農は望月のロングなどで尾道のディフェンスを崩そうとするが、尾道の厚い守りに阻まれた。尾道は速攻でリズムをつかみ、渡辺のロングや竹国のサイドからの回り込みで得点を重ねた。後半、立ち上がり10分は尾道が速攻をはずしたら、セットの攻撃が単発になったりしたことに加えて静岡農の片平、佐野のロングが決まり互角の展開になった。その後尾道はディフェンスを立て直し、速攻を決め、静岡農を押し切った。（大塚）

〔静岡農〕

	選手	得
GK	住吉	0
	原田	0
FP	上野	0
	片島	1
	望月	2
	佐野	4
	原	0
	片平	3
	剣持	0
	川崎	0
	佐藤	0
	有馬	0
PT	(0)	10

（審・池田、大河原）

〔尾道〕

	選手	得
GK	岡田	0
	島本	0
FP	王野	1
	渡辺	7
	迫田	3
	神田	4
	大平	10
	竹国	4
	柏原	0
	半田	0
	井上	0
	山田	0
PT	(1)	29

青森商（青森） 27 〔13—17、14—6〕 23 **大島**（鹿児島）

〔戦評〕前半、大型選手をそろえた青森商は、たて続けにノーマークシュートを打つが、大島のGKの好守により思うように得点できず、スローオフからの速攻を多用する大島が3点差をつける。しかし、青森は後半の立ち上がりからリズムをつかみ、7分同点とし、残り6分頃まで一進一退の攻防を続けたが、最後には大型チームとしての力を発揮した青森商が逆転勝ちを納めた。（中川）

〔大島〕

	選手	得
GK	新元	0
	恵	0
FP	三井	1
	西加	5
	浜畑	1
	荻迫	7
	信田	4
	新納	0
	屋	0
	雪田	5
	野口	0
	藤崎	0
PT	(1)	23

（審・島崎、井上）

〔青森商〕

	選手	得
GK	中村	0
	藤本	0
FP	市川	3
	山田	7
	小鹿	8
	澤田	1
	伊藤	5
	藤田	3
	福士	0
	大村	0
	木浪	0
	工藤	0
PT	(1)	27

添上（奈良） 19 〔11—8、8—9〕 17 **新潟江南**（新潟）

〔戦評〕開始早々、添上はよく走って10分までに6—0とリード。その後、新潟江南も落ち着き、反撃を開始、一時8点差があったア

ヘッドを11—8と3点差にして前半を終了、後半、両チームとも持ち味を出し、一進一退をくり返す。結局、出足よくスタートした添上が新潟江南の猛反撃にありながらも何とか逃げ切った。（秋永）

得	〔添上〕		〔江南〕	得
0	川畑	GK	田中	0
0	橋本	GK	長谷川	0
6	奥谷	FP	佐久間	2
8	東	FP	石栗	2
2	松谷	FP	本間	0
1	小出	FP	梶井	3
0	馬場	FP	清水	8
2	小柳	FP	小暮	1
0	北脇	FP	渡辺	0
0	杉本	FP	今川	0
0	大津	FP	佐藤	1
0	辰己	FP	田島	0
19	(2)	PT	(2)	17

〔審・馬場・浜田〕

氷見（富山） 31 〔19—8 / 12—9〕 17 高松商（香川）

〔戦評〕氷見は、立ち上がり早いつなぎからのずらし攻撃でサイドから得点、高松商もサイド、速攻で10分まではほぼ互角に応戦したが、早い詰めのディフェンスを攻め切れず、シュート、ディフェンスのミスもあり、PTで5得点され前半は意外な大差がついた。後半もその差は詰まらなかった。氷見の走りと早いつなぎに見るべきものがあった。（大河原）

得	〔氷見〕		〔高松商〕	得
0	浜元	GK	岡内	0
0	室田	GK	橋	0
0	飯山	FP	山下	0
10	新井	FP	藤野	6
9	柿谷	FP	藤川	0
1	田中	FP	東原	3
0	東軒	FP	赤松	2
4	五十里	FP	吉田	5
3	桶家	FP	藤井	0
3	江幡	FP	柳生	0
0	小路	FP	鎌田	1
1	針山	FP	真部	0
31	(6)	PT	(2)	17

〔審・中島・上野〕

長崎日大（長崎） 23 〔9—9 / 14—6〕 15 飯南（島根）

〔戦評〕長崎日大のスローオフで始まり、長崎日大は井手、飯南は三島を中心として攻撃、前半は全く互角の9—9。後半に入っても長崎日大はよく走り、順調に加点する。一方飯南は、シュートミスが多く、反撃を受けて引き離される。飯南のディフェンス前でのミスが目立った。（島崎）

得	〔長崎日〕		〔飯南〕	得
0	牧山	GK	門脇蔵	0
0	大塚	GK	舟木	0
7	井手創	FP	横貝	2
2	井上	FP	門脇祥	2
1	井手邦	FP	藤原	2
0	山本	FP	松平	1
8	稲佐	FP	吾郷	1
0	福田	FP	三島	6
1	緒方	FP	堀越	0
0	高木	FP	安食	1
2	山根	FP	澤田	0
2	池田	FP	山田	0
23	(3)	PT	(0)	15

〔審・能波・井上〕

2回戦

横浜商工（神奈川） 36 〔15—9 / 21—11〕 20 県岐阜商

〔戦評〕横浜商工は手渡しパスなどを使い、自らのペースで攻撃を展開。一方、県岐阜商もディフェンスがよく動き、10分過ぎまでは一進一退が続いたが、岐阜商にミスが出たのに対し横浜商工は着実に加点、次第に点差を広げていった。（丸谷）

得	〔横浜商工〕		〔岐阜商〕	得
0	野口	GK	鬼頭	0
0	小野寺	GK	佐藤	0
7	小川	FP	草川	8
4	田中	FP	岡部	6
0	松沢	FP	堀	0
1	西村	FP	今瀬	1
7	小沢	FP	竹岸	0
2	山本	FP	小牧	0
8	熊倉	FP	塚原	0
1	小林	FP	井上	3
5	大浦	FP	木下	2
1	石川	FP	中之薗	0
36	(4)	PT	(1)	20

〔審・岡本・中川〕

小松明峰 21 〔9—6 / 12—8〕 14 境（鳥取）

〔戦評〕小松明峰のフェイント攻撃に対し、境・板倉のミドルシュートがうまく決まり、立ち上がりは互角の戦いとなった。しかし、中盤より小松明峰は北橋のミドルシュートが冴え、9—6とリードして前半を終った。

後半も一進一退の好ゲームであったが、小松明峰が境の板倉にマンツーマンにつき、境の得点が途切れ、小松明峰がリードを広げて勝ち上がった。（浜田）

得	〔明峰〕		〔境〕	得
0	藤島	GK	樋口	0
0	辻本	GK	松田	0
5	石井	FP	松本	1
7	北橋	FP	池淵	0
5	村本	FP	柏木	4
0	金森	FP	板倉	5
0	菊谷	FP	平岡	2
0	大壁	FP	高野	1
1	二木	FP	恩重	0
2	魚川	FP	榧野	1
0	中村	FP	森田	0
1	小路	FP	里見	0
21	(2)	PT	(1)	14

〔審・佐谷・村尾〕

桑名 18 〔9—8 / 9—5〕 13 北陸（福井）

〔戦評〕北陸の速攻に対し、桑名は遅攻からのサイドシュート、ポストシュートなどで互いに点をとり合う展開となったが、10分過ぎ桑名は北陸ディフェンスのすきをつき、梅山を中心としたボール回しからのロングシュートなどで2点をリードした。しかし、前半終了近く、北陸の山崎のロングシュートで1点差で前半を終える。

後半に入ると桑名が3点を連取、点差を広げるかに見えたが、北陸はロングサイドからの回り込みなどで20分には同点に追いついた。しかし、桑名はしぶとく梅山を中心とした攻撃で4点を連取して試合を決めた。（中島）

得	〔桑名〕		〔北陸〕	得
0	古賀	GK	山口	0
0	岡田	GK	杉本	0
8	梅山	FP	黒田	0
0	水谷	FP	斉藤	2
2	加藤	FP	松原	0
0	山本	FP	山口	0
4	岩本	FP	姉崎	1
1	本田	FP	東谷	3
0	越智	FP	岡田	2
3	蛭川	FP	山崎	4
0	三輪	FP	児嶋	0
0	江頭	FP	手塚	1
18	(2)	PT	(0)	13

〔審・茨木・辻〕

長浜北 29 〔14—9 / 15—5〕 14 三好農林（徳島）

〔戦評〕両チームともよく似たゲーム運びを見せるが、長浜北のディフェンスの乱れが目立ち、三好農林のポストからのシュートがよく決まってリード。しかし、長浜北はロングシュートで徐々に反撃する。後半、長浜北のディフェンスが良く、三好農林が攻めあぐむ場面がしばしば見られ、カットインからの速攻などで長浜北が勝利を得た。（井上）

得	〔長浜北〕		〔三好農林〕	得
0	森	GK	中野	0
0	上田	GK	山田	0
6	川瀬	FP	下川	2
11	吉川	FP	池田	4
4	森田	FP	三好	3
2	馬場	FP	国谷	0
1	服部	FP	鈴木	0
2	霜出	FP	高崎	2
2	浅尾	FP	上西	1
1	城楽	FP	三木	2
0	伊吹	FP	杉本	0
0	山村	FP	大西	0
29	(3)	PT	(1)	14

〔審・丸谷・奥田〕

久工大附（福岡） 16 〔8—7 / 8—8〕 15 市川

〔戦評〕初戦で少し堅さが見られる久留米工大附に対して、2戦目の市川はよく守り、早いパス回しから優位にゲームを進めていたが、久留米は23分から3点を連取して逆転、前半を終了する。

後半も一進一退で、23分、久留米・斉藤のフェイントシュートで

得	〔久工大付〕		〔市川〕	得
0	森山	GK	小林	0
0	文	GK	浜松	0
6	斉藤	FP	中野	5
0	近藤	FP	坂井	5
2	川口	FP	佐藤	0
3	清水	FP	中井	0
3	志田	FP	戸崎	0
1	誉田	FP	塚越	2
0	岡	FP	吉橋	3
1	飯田	FP	川上	0
0	菰原	FP	武井	0
0	馬場	FP	太田	0
16	(2)	PT	(2)	15

〔審・武田・秋永〕

2点差とし、退場者が出て1点差まで追い上げられたが辛くも1点差で逃げ切った。（馬場）

大谷（京都）24〔8—12 / 16—6〕18 屋代

〔戦評〕立ち上がり屋代は、ミドルシュート、速攻で着々と得点を重ね、また大谷もカットインからのポストプレーより加点し、前半は12—8で折り返した。後半に入って9分過ぎ、大谷が速攻で初めてリードを奪い、その後大谷は小さいながらも速攻で次々と加点、結局24—18で押し切った。（額田）

〔屋代〕

	選手	得
GK	柳沢	0
GK	北村	0
FP	宮本	5
FP	渋沢	3
FP	滝沢	0
FP	小野	2
FP	竹田	1
FP	宮入	2
FP	北沢	1
FP	笠井	2
FP	鈴木	0
FP	海野	0
PT	(0)	18

〔審・八昉 加藤〕

〔大谷〕

	選手	得
GK	木村	0
GK	湯浅	0
FP	岡田	2
FP	山本	3
FP	小川	7
FP	湯山	0
FP	中川	8
FP	坂元	4
FP	田中	0
FP	安田	0
FP	加藤	0
FP	梅田	0
PT	(2)	24

明石北 18〔11—7 / 7—7〕14 新居浜工（愛媛）

〔戦評〕立ち上がりから出足の素早い明石北が新居浜工のセット攻撃をよく防ぎ、新居浜工のミスから速攻、セットでのロングシュートとリズムよく得点を重ねる。一方、中盤からリズムをつかんだ新居浜工もポスト攻撃で追い上げて前半を終了。

後半も最後まで息の抜けない好試合となったが、前半同様ディフエンスのがんばり、またGKの好守からの速攻での得点を重ね、必死に追いすがる新居浜工をふり切った。（中川）

〔新浜工〕

	選手	得
GK	滝本	0
GK	近藤	0
FP	丸川	3
FP	平井	0
FP	河端	3
FP	新名	0
FP	伊東	2
FP	神野	3
FP	大西	2
FP	白石	1
FP	森田	0
FP	池田	0
PT	(2)	14

〔審・井上 島崎〕

〔明石北〕

	選手	得
GK	王子	0
GK	高木	0
FP	石戸	2
FP	竹下	3
FP	甲斐	4
FP	平賀	1
FP	伊藤	4
FP	貝田	4
FP	足立健	0
FP	足立政	0
FP	岩田	0
FP	江村	0
PT	(0)	18

熊本市商（熊本）18〔9—4 / 9—11〕15 桃山学院

〔戦評〕熊本市商の高いディフエンスとGKの好守に桃山学院は攻めあぐみ、その間に速攻からのカットインやポストプレーで熊本市商は得点を重ね、9—4で前半を終了した。

後半立ち上がり、熊本市商・岩本のミドルが決まり出し、熊本のペースになるかと思われたが、桃山のディフエンスが立ち直り、カット、速攻、ポストプレーで後半互角に戦ったが、前半の5点差が大きかった。（佐谷）

〔桃山〕

	選手	得
GK	吉田	0
GK	田端	0
FP	庄司	1
FP	中野	7
FP	芝本	3
FP	深江	1
FP	池田	2
FP	鴨谷	0
FP	下山	1
FP	中瀬	0
FP	市原	0
FP	市村	0
PT	(2)	15

〔審・浜田 馬場〕

〔熊本商〕

	選手	得
GK	荒木	0
GK	東	0
FP	鶴田	2
FP	宮本祐	0
FP	宮本輝	0
FP	赤星	0
FP	門口	0
FP	岩本	7
FP	平田	4
FP	松谷	4
FP	梅井	1
FP	久保田	0
PT	(2)	18

小禄（沖縄）23〔13—8 / 10—9〕17 那賀

〔戦評〕立ち上がり、小禄はディフエンスからの速攻を軸に全員がよく走り、セット攻撃では照屋のサイドシュートなどで得点を重ねていった。一方那賀は小禄のディフエンスを攻めあぐみ、自分たちのペースをつかむことができなかった。

後半はお互いにセット攻撃が多くなり、互角の展開になった。小禄はポスト攻撃を中心に攻め、那賀は中露のミドルを軸に攻めた。結局、小禄は前半のリードをよく保ち逃げ切った。（大塚）

〔那賀〕

	選手	得
GK	中川	0
GK	正木	0
FP	中井	0
FP	中露	7
FP	古閑	2
FP	田宮	1
FP	飯野	2
FP	小嶋	0
FP	福岡	0
FP	笠中	0
FP	牧浦	1
FP	住岡	2
PT	(1)	17

〔審・西園 大原〕

〔小禄〕

	選手	得
GK	長嶺	0
GK	高良武	0
FP	當間	3
FP	島袋	1
FP	仲里	5
FP	永野	0
FP	中村	2
FP	山城	0
FP	高良尚	0
FP	照屋	5
FP	奥間	7
FP	山城	0
PT	(2)	23

中京 22〔12—8 / 10—6〕14 麻生（茨城）

〔戦評〕2回戦から登場の麻生は堅さがとれず、試合開始5分まで中京に5点連取を許した。しかし中京GKの不正入場をきっかけにミドルシュート、スカイプレーなどで得点し、前半を12—8で折り返した。

後半に入ると両チームとも退場者が続出するが、中京が終始ペースを握り続け、22—14で逃げ切った。（武智）

〔麻生〕

	選手	得
GK	荒野	0
GK	箕輪	0
FP	小林	1
FP	宮内	2
FP	横山	2
FP	小貫	8
FP	羽生	0
FP	塙	1
FP	松沢	0
FP	小沢	0
FP	大川	0
FP	広原	0
PT	(1)	14

〔審・後藤 島田〕

〔中京〕

	選手	得
GK	中野	0
GK	加藤	0
FP	嘉田	2
FP	中村	5
FP	山田	2
FP	広田	2
FP	光田	6
FP	垂見	2
FP	田口	1
FP	近藤	0
FP	古澤	1
FP	中井	1
PT	(4)	22

育英 33〔17—4 / 16—7〕11 日大山形（山形）

〔戦評〕地元・育英は初戦を勝って堅さがほぐれたのか、松原を中心にセット、速攻と確実に得点を重ね、前半で勝敗が決した試合であった。（大原）

〔日大山形〕

	選手	得
GK	叶	0
GK	本間	0
FP	小野寺	2
FP	清原	2
FP	鈴木	0
FP	高橋	2
FP	石坂	0
FP	五十嵐	2
FP	箭柏	2
FP	鈴木	0
FP	管江	1
FP	鹿野	0
PT	(0)	11

〔審・茨木 辻〕

〔育英〕

	選手	得
GK	有田	0
GK	清水	0
FP	井村	5
FP	泉	7
FP	松原	10
FP	枇榔	0
FP	紀	1
FP	森岡	3
FP	岩本	0
FP	横山	3
FP	土肥	0
FP	治井	4
PT	(1)	33

尾道 21〔8—4 / 13—9〕13 国学院栃木（栃木）

〔戦評〕立ち上がり国学院栃木は

刀川の速攻で先取点をあげたが、尾道・大平の浮かしシュートなどで3点を連取して逆転、その後も神田の活躍などで得点を重ねていく。

後半、国学院・野沢の3点連取で1点差にまで詰め寄り、場内を湧かせたが、尾道の玉野のシュートが決まり出し、前半のリードを守って逃げ切った。（西園）

得	〔尾道〕		〔国学院〕	得
0	岡田	GK	深沢	0
0	島本	GK	杉山	0
6	玉野	FP	牧田	0
2	渡辺	FP	刀川	1
4	迫田	FP	寺内	2
4	神田	FP	後藤	1
4	大平	FP	持屋	0
1	竹国	FP	野沢	9
0	柏原	FP	福田	0
0	半田	FP	石川	0
0	井上	FP	菊政	0
0	山田	FP	小林	0
21	(2)	PT	(0)	13

（審・夏目 松ヶ谷）

岩陽 15 〔7—5 8—6〕 11 **青森商**
（山口）

〔戦評〕立ち上がり互角の攻防。9分過ぎ、岩陽は中辻の3連続得点で一歩リードする。後半に入り岩陽は5連続得点をあげ試合を決定したかに思われたが、11分から青森商も5点を連取、必死に食い下がりを見せたが一歩及ばなかった。（後藤）

得	〔岩陽〕		〔青森商〕	得
0	水谷	GK	中村	0
0	三牧	GK	藤本	0
3	浜中	FP	市川	1
6	中辻	FP	山田	4
0	河合	FP	小鹿	4
0	村上	FP	澤田	0
0	福島	FP	伊藤	1
4	田村	FP	藤田	0
0	藤谷	FP	福土	0
2	中村	FP	大村	0
0	藤井	FP	木浪	1
0	田中	FP	工藤	0
15	(2)	PT	(3)	11

（審・西田 大河原）

浦和学院 20 〔8—4 12—4〕 8 **添上**
（埼玉）

〔戦評〕添上のスローオフで開始。互いにロングが決まらず苦しむが5分、浦和・宇井の速攻が決まり先制。しかし、添上も東のロングで追いつく。その後、浦和・保坂のロングが決まり出し、前半を8—4で終了。

後半に入っても脚力に勝る浦和は着実に追加点をあげるが、添上は浦和の固いディフェンスを破ることができなかった。（八日市屋）

得	〔浦和学院〕		〔添上〕	得
0	佐藤	GK	川畑	0
0	菊地	GK	橋本	0
2	保坂	FP	奥谷	2
3	宇井	FP	東	4
0	杉山	FP	松谷	1
3	関口	FP	小出	0
1	新方	FP	馬場	1
3	山田	FP	小柳	0
4	高橋	FP	北脇	0
1	須藤	FP	杉本	0
1	大内	FP	財木	0
2	塚越	FP	南	0
20	(3)	PT	(0)	8

（審・福井 木村）

氷見 27 〔15—10 12—7〕 17 **湯沢**
（秋田）

〔戦評〕立ち上がりからスピードに乗る氷見は、速攻、ロングなどで着々と加点。一方湯沢は、山岸、高山の長身を生かしたシュートで追いすがるも5点差で前半を終了。スピードに勝る氷見は、後半に入ってからも速攻を中心に加点、湯沢のノーマークシュートミスもあり、やや一方的なゲームとなった。（松ヶ谷）

得	〔氷見〕		〔湯沢〕	得
0	浜元	GK	下嶋	0
0	空田	GK	照井	0
3	飯山	FP	柴田	0
0	新井	FP	小松	2
12	柿谷	FP	山岸	4
3	田中	FP	高山	4
1	東軒	FP	本田	5
3	五十里	FP	松田	0
1	桶家	FP	高橋	0
3	江幡	FP	佐藤	0
0	小路	FP	高橋	2
1	塚原	FP	鋳谷	0
27	(5)	PT	(2)	17

（審・井上 能波）

長崎日大 12 〔6—3 6—6〕 9 **明星**
（東京）

〔戦評〕開始10分間は、両チームともGKの美技により得点することがほとんどできなかったが、長崎日大は両サイドにボールを集めて得点をあげていった。明星は、長崎日大の荒いディフェンスで再三の退場のチャンスにノーマークをつくるが、相手GKに阻止され前半を6—3で終了。

後半は1点を争うゲーム展開となったが、相手ミスを確実に得点に結びつけた長崎日大が勝った。（池田）

得	〔長崎日大〕		〔明星〕	得
0	牧山	GK	守随	0
0	大塚	GK	小林	0
2	井手創	FP	倉持	0
5	井上	FP	三浦	0
2	井手邦	FP	井出	0
0	山本	FP	前田	0
2	稲佐	FP	種茂	0
0	福田	FP	五島	5
0	緒方	FP	金井	2
0	高木	FP	遠藤	2
1	山根	FP	田代	0
0	池田	FP	野島	0
12	(2)	PT	(1)	9

（審・松原 武智）

3回戦

横浜商工 25 〔11—8 14—5〕 13 **小松明峰**

〔戦評〕立ち上がり、両チームともすばらしいフットワークでディフェンスし、互角に戦っていたが10分過ぎから横浜商工が小川のパスワークを中心に手渡しパスを利用し、ミドル、ポストにつなぎ、少しずつ得点を重ねていく。一方小松明峰は相手ミスからの速攻で追い上げる形となったが、シュートにミスが目立ち、前半終了間際に得点を加えたものの3点差で折り返す。後半は、横浜商工が固いディフェンスから速攻で次々と加点し、一方的な試合展開となった。（武田）

得	〔横浜商工〕		〔明峰〕	得
0	野口	GK	藤島	0
0	小野寺	GK	辻本	0
5	小川	FP	石井	0
5	田中	FP	北橋	4
2	松沢	FP	村本	5
1	西村	FP	金森	0
4	小沢	FP	菊谷	0
4	熊倉	FP	大壁	0
1	小林	FP	二木	0
2	大浦	FP	魚川	3
0	石川	FP	中村	0
1	山地	FP	小路	1
25	(4)	PT	(1)	13

（審・池田 大河原）

桑名 13 〔6—5 7—7〕 12 **長浜北**

〔戦評〕両チームとも立ち上がりからイージーミスが目立ち、雑な展開となるが、中盤以降、固い守りとGKの好守により一進一退でゲームが進み、桑名の1点リードで前半を折り返す。

後半3分、長浜北は同点に追いつくが、桑名はポスト攻撃で加点、長浜北も残り3分に再度追いつくが、結局桑名がGKの好守もあって辛くも1点差で逃げ切った。（茨木）

得	〔桑名〕		〔長浜北〕	得
0	古賀	GK	森	0
0	岡田	GK	上田	0
4	梅山	FP	川瀬	3
1	水谷	FP	吉川	5
2	加藤	FP	森田	2
0	山本	FP	馬場	0
0	岩本	FP	服部	0
0	本田	FP	霜出	2
0	越智	FP	桟尾	0
3	蛭川	FP	城楽	0
3	三輪	FP	伊吹	0
0	江頭	FP	山村	0
13	(3)	PT	(3)	12

（審・八晣 加藤）

久留米工大付 19 〔11—3 8—12〕 15 **大谷**

〔戦評〕前半15分まで大谷は久留米の守りを攻め切れず、逆に久留米は走りまくって8—1と一方的な試合となった。

得	〔久工大付〕		〔大谷〕	得
0	森山	GK	木村	0
0	文	GK	湯桟	0
3	斉藤	FP	岡田	2
1	近藤	FP	山本	2
2	川口	FP	小川	2
2	清水	FP	湯山	4
7	志田	FP	中川	5
0	誉田	FP	坂元	0
0	鶴田	FP	田中	0
1	伊藤	FP	安田	0
3	菰原	FP	加藤	0
0	馬場	FP	梅田	0
19	(3)	PT	(2)	15

（審・浜田 馬場）

後半、大谷もよく走りがんばったが、やはりチーム力の差が表れた試合であった。（佐谷）

熊本市商 34〔13―9、21―6〕15 明石北

〔戦評〕大観衆の見守る中、ともに出足良く3―3、その後、熊本市商の長身・岩本の多彩なシュートにGKも惑わされ、点数を重ねていった。また、熊本市商のGK荒木も明石北のシュートをことごとくシャットアウトした。後半に入っても熊本市商の勢いは止まらず、立ち上がり4―0とリード。明石北も負けじと走り込むが、前半のムードに押し切られ、34―15の大差で熊本市商が危なげなく勝利を得た。（西園）

得	熊本市商		明石北	得
0	荒木	GK	王子	0
0	東	GK	高木	0
2	鶴田	FP	石戸	1
2	宮本	FP	竹下	1
4	門口	FP	甲斐	5
0	内田	FP	平賀	1
12	岩本	FP	伊藤	3
1	渡辺	FP	貝田	4
4	平田	FP	足立健	0
7	松平	FP	足立政	0
2	梅井	FP	岩田	0
0	久保田	FP	江村	0
34	(3)	PT	(0)	15

（審・松原、武智）

小禄 21〔10―11、11―9〕20 中京

〔戦評〕中京は、早いパス回しからオープン攻撃をしかけるが、シュートミスが目立った。小禄は、パス回しからのロングシュートがよく決まり、2点差で前半終了。

後半、中京のポストプレー、速攻が決まり、また2本のPTで24分に同点に追いつくが、小禄・仲里のフリースローからのシュートが終了30秒前に決まり、熱戦に終止符を打った。（岡本）

得	小禄		中京	得
0	長嶺	GK	中野	0
0	高良	GK	加藤	0
2	當間	FP	嘉田	5
6	島袋	FP	中村	4
4	仲里	FP	山田	2
0	永野	FP	広田	4
1	中村	FP	光田	4
0	照屋史	FP	垂見	0
0	山城	FP	田口	0
5	照屋保	FP	近藤	0
3	奥間	FP	古澤	1
0	山城	FP	中井	0
21	(1)	PT	(3)	20

（審・井上、能波）

育英 37〔24―14、13―7〕21 尾道

〔戦評〕前半はセット攻撃主体の展開となった。育英は、松原、泉の両フローターからの展開でよくシュートが決まった。それに対して尾道は、前に積極的に出てくる育英ディフェンスを攻めあぐんだ。

後半立ち上がり、育英は2人の退場者を出したのを機会に尾道は点差を縮める。尾道はマンツーマン・ディフェンスをしくが、育英はよく動いてノーマークをつくりシュートに結びつけた。それからは互いに点の取り合いになったがよく速攻を決めた育英が逃げ切った。（大塚）

得	育英		尾道	得
0	有田	GK	岡田	0
0	清水	GK	島本	0
6	井村	FP	王野	5
9	泉	FP	渡辺	5
14	松原	FP	迫田	1
0	枇榔	FP	神田	5
0	紀	FP	大平	5
3	森岡	FP	竹国	0
0	岩本	FP	柏原	0
3	横山	FP	半田	0
0	土肥	FP	井上	0
2	治井	FP	山田	0
37	(0)	PT	(2)	21

（審・後藤、島田）

浦和学院 15〔8―6、7―7〕13 岩陽

〔戦評〕両チームともに単調なシュートが目立った。得点の多くが個人技によるもので、今一つ迫力に欠ける前半戦だったが、後半は両チームともに動きが活発になり組織プレーがよく決まり出した。一進一退の中、ミスの少なかった浦和学院が一歩抜け出した。（上野）

得	浦和学院		岩陽	得
0	佐藤	GK	水谷	0
0	菊地	GK	三牧	0
1	保坂	FP	浜中	0
2	宇井	FP	中辻	1
0	杉山	FP	河合	0
4	関口	FP	村上	0
0	新方	FP	福島	0
1	山田	FP	田村	8
3	高橋	FP	藤谷	3
0	須藤	FP	中村	1
0	大内	FP	藤井	0
4	塚越	FP	田中	0
15	(0)	PT	(5)	13

（審・木村、福井）

氷見 21〔13―7、8―12〕19 長崎日大

〔戦評〕前半立ち上がり、長崎日大は順調なすべり出しで12分には4点差をつける。一方氷見は、相手の積極的なディフェンスに手を焼いていたが、長崎日大側に警告者があいついで出てから追撃を始める。後半に入って8点を連取した氷見が一気に逆転、そのまま逃げ切った。（丸谷）

得	氷見		長崎日大	得
0	浜元	GK	牧山	0
0	室田	GK	大塚	0
1	飯山	FP	井手創	5
4	新井	FP	井上	4
8	柿谷	FP	井手邦	0
0	田中	FP	山本	2
0	東軒	FP	稲佐	7
3	五十里	FP	福田	0
0	干場	FP	緒方	0
1	桶家	FP	高木	0
4	江幡	FP	山根	1
0	小路	FP	池田	0
21	(8)	PT	(0)	19

（審・松ケ谷、夏目）

準々決勝

横浜商工 32〔14―8、18―4〕12 桑名

〔戦評〕総合力で優位に立つ横浜商工が開始早々より着々と加点、10分で10―1として勝負は決定的となる。

後半、桑名もよく走って反撃するが、力の差は歴然。横浜商工の圧勝であった（秋永）

得	横浜商工		桑名	得
0	野口	GK	古賀	0
0	小野寺	GK	岡田	0
2	小川	FP	梅山	4
1	田中	FP	水谷	0
4	松澤	FP	加藤	2
2	西府	FP	山本	0
8	小沢	FP	岩本	0
4	熊倉	FP	本田	0
8	小林	FP	越智	0
2	大浦	FP	蛭川	6
0	石川	FP	三輪	0
1	太刀川	FP	江頭	0
32	(1)	PT	(2)	12

（審・丸谷、奥田）

熊本市商 24〔11―9、13―7〕16 久留米工大付

【戦評】九州地区同士の一戦となったが、比較的静かなゲームのスタート。熊本市商は長身を生かしたプレーで久留米に的を絞らせず多彩なシュートで確実に点差を広げていった。一方久留米は、再三のチャンスも熊本GK荒木の好守に阻まれ、盛り上がりに欠け、いつもの迫力がなかった。熊本市商の快勝であった。(大原)

得	熊本市商		久工大付	得
0	荒木	GK	森山	0
0	東	GK	文	0
4	鶴田	FP	斉藤	5
0	宮本玲	FP	近藤	0
0	宮本輝	FP	川口	1
1	赤星	FP	清水	3
3	門口	FP	志田	2
6	岩本	FP	誉田	3
6	平田	FP	鶴田	0
0	松谷	FP	伊藤	0
4	梅井	FP	菰原	2
0	久保田	FP	馬場	0
24	(0)	PT	(2)	16

(審・島田、後藤)

小禄 23 (11—12, 7—6, 3—1, 2—2) 21 育英

【戦評】前半、速攻で先制した育英がペースをつかみかけたが、シュートミスが続き、一進一退の攻防が続いた。後半、リズムをつかんだ小禄が7分に逆転。しかし育英も2本のPTを決め、22分には同点に追いつく。残り2分を切った時、育英が1名の退場者を出したが小禄攻め切れず、延長戦にもつれ込む。

延長戦に入って小禄は島袋のロングが決まり、育英も泉、松原が打ち返すが一歩及ばず、23—21で小禄が逃げ切った。(岡本)

得	小禄		育英	得
0	長嶺	GK	有田	0
0	高良	GK	清水	0
2	當間	FP	井村	2
7	島袋	FP	泉	7
2	仲里	FP	松原	7
0	永野	FP	枇榔	0
3	中村	FP	紀	0
0	照屋史	FP	森岡	3
0	山城	FP	岩本	1
1	照屋保	FP	横山	1
8	奥間	FP	土肥	0
0	山城	FP	治井	0
23	(2)	PT	(3)	21

(審・井上、能波)

浦和学院 23 (9—9, 10—10, 3—1, 1—1) 21 氷見

【戦評】氷見は早いボール回しから3点を連取した。一方浦和は、5分過ぎ、ボールカットからの速攻でペースをつかみ、前半20分で同点に追いついた。その後、後半終了まで一進一退をくり返した。しかし、両チームとも譲らず延長に入る。

延長に入ると、浦和は走りを使った攻撃からリードを奪い勝負を決めた。氷見の固いディフェンス、田中を中心とした攻撃に対し、浦和の速攻と白熱した好ゲームであった。特に、浦和GKの好守が光った。(中島)

得	浦和		氷見	得
0	佐藤	GK	浜元	0
0	菊地	GK	室田	0
5	保坂	FP	飯山	0
5	宇井	FP	新井	5
0	杉山	FP	柿谷	8
4	関口	FP	田中	2
3	新方	FP	東軒	0
4	山田	FP	五十里	1
0	高橋	FP	桶家	0
0	須藤	FP	江幡	5
0	大内	FP	小路	0
2	塚越	FP	針山	0
23	(4)	PT	(4)	21

(審・浜田、馬場)

準決勝

横浜商工 25 (10—9, 15—9) 18 熊本市商

【戦評】開好直後、両チームが浮き足だった状態の展開の中からいち早く横浜商工が落ち着き、得点をあげていったが、熊本市商も徐々に追い上げ、17分に追いついてからは一進一退の展開。

後半に入り、横浜商工は小川、小沢、田中の手渡しパスよりPTを誘って波に乗り、4連続得点をあげ一気に引き離した。熊本市商の高さのプレーに対し、横浜商工の幅のある横のプレーが上回った試合であった。(大原)

得	横浜商工		熊本市商	得
0	野口	GK	荒木	0
0	小野寺	GK	東	0
10	小川	FP	鶴田	3
6	田中	FP	赤星	0
0	松沢	FP	門口	1
1	西村	FP	内田	0
2	小沢	FP	岩本	8
4	熊倉	FP	渡辺	0
0	小林	FP	平田	3
2	大浦	FP	松谷	1
0	石川	FP	梅井	2
0	太刀川	FP	久保田	0
25	(4)	PT	(4)	18

(審・浜田、馬場)

小禄 14 (9—7, 5—4) 11 浦和学院

【戦評】立ち上がり浦和学院は、保坂のミドルシュートで先行、5分までに4—1を小禄を引き離すが、奥間の速攻をきっかけに小禄のペースとなり、GK長嶺を中心とした守りから速攻を連発した。

後半に入ると、両チームともミスが多くなるが、小禄のペースは衰えず、宇井のロングで粘る浦和学院を押し切った。ディフェンスの差が明暗を分けた。(武智)

得	小禄		浦和学院	得
0	長嶺	GK	佐藤	0
0	高良	GK	菊地	0
3	當間	FP	保坂	2
2	島袋	FP	宇井	5
2	仲里	FP	杉山	0
0	永野	FP	関口	1
3	中村	FP	新方	0
0	照屋史	FP	山田	0
0	山城	FP	高橋	1
2	照屋保	FP	須藤	0
2	奥間	FP	大内	0
0	山城	FP	塚越	2
14	(1)	PT	(2)	11

(審・島田、後藤)

小禄が初優勝

決勝

小禄 14 (8—7, 6—4) 11 横浜商工

【戦評】小禄のミドルシュートと横浜商工の手渡し攻撃と互いに譲らぬ好ゲームとなった。前半から小禄GK野口のすばらしいキーピングにより、横浜商工のノーマークシュートをとった。前半8—7と小禄リードで折り返した。

後半に入り、15分まで同点だったが、残り10分、小禄はすばらしい守りで横浜商工の手渡しを守り、ミドル、ポストシュートが決まり快勝した。

決勝戦にふさわしい好ゲームであった。(浜田)

得	小禄		横浜商工	得
0	長嶺	GK	野口	0
0	高良	GK	小野寺	0
1	當間	FP	小川	2
4	島袋	FP	田中	4
4	仲里	FP	松沢	0
0	永野	FP	西村	0
1	中村	FP	小沢	1
0	照屋史	FP	熊倉	2
0	山城	FP	小林	1
0	照屋保	FP	大浦	1
4	奥間	FP	石川	0
0	山城	FP	太刀川	0
14	(1)	PT	(2)	11

(審・島田、後藤)

女子

1回戦

佼成学園女（東京） 19 〔8－2／11－5〕 7 聖和学園（宮城）

〔戦評〕前半、両チームとも堅さからシュートミスが目立ったが、相手のミスを確実に得点に結びつけた佼成学園女がリードを奪った。
後半も、聖和学園は佼成学園女の高いディフェンスを崩すことができず、逆に速攻を受けて敗れた。（岡本）

	〔佼成女〕	得	〔聖和〕	得
GK	戸塚	0	今野	0
GK	益子	0	伊藤	0
FP	高橋	2	片倉	2
FP	坂本	2	大友	3
FP	執印	7	大沼	0
FP	村田	1	鈴木	0
FP	中沢	1	穴戸	0
FP	桐谷	6	大森	0
FP	平内	0	加藤	0
FP	中社	0	藤原	0
FP	峯岸	0	佐藤里	0
FP	細川	0	佐藤裕	2
PT	(2)		(1)	
計		19		7

（審・井上 島崎）

筑紫女学園（福岡） 19 〔11－6／8－4〕 10 京都女（京都）

〔戦評〕前半、筑紫はディフェンスからよく走って得点し、並松、宮本のロングで加点しだ11得点をあげる。一方京都女は、荒いディフェンスから退場者を続出しながらも、ポスト、サイドで得点、6をあげ前半を終る。
後半は、互いに一進一退で進行、結局筑紫が少しずつ引き離して勝利を握った。力の差のあるゲームであったが、初戦の為か筑紫のミスも多かった。（馬場）

	〔筑紫〕	得	〔京都女〕	得
GK	堺	0	中川	0
GK	梶原	0	坂井	0
FP	内永	3	金沢	1
FP	並松	6	国本	0
FP	宮本	6	広瀬	1
FP	本田	0	村西	2
FP	増子	2	佐藤	2
FP	河内山	1	立野	3
FP	森田	1	栗木	1
FP	中冨	0	藤田	0
FP	和田	0	森口	0
FP	岩田	0	田中	0
PT	(6)		(1)	
計		19		10

（審・池田 大河原）

高松商（香川） 21 〔8－6／13－5〕 11 神埼農（佐賀）

〔戦評〕立ち上がり、両チームともに堅さが見られミスが多かったが、5分過ぎには徐々に自分のペースをつかみ、1点争う好ゲームになった。高松商は20分過ぎ、神埼農のミスを速攻につなぎ、連続得点をあげて2点をリード、前半を終った。
後半に入り、高松商は速攻で完全にペースをつかみ、8分過ぎには14－7と大きくリードした。神埼農もセットから粘り強く得点をねらうが、動きの良くなった高松商のディフェンスを崩せず、逆に速攻を許してしまった。（奥田）

	〔高松商〕	得	〔神埼農〕	得
GK	滝井	0	森田	0
GK	木村	0	竹林	0
FP	植松	0	小川	2
FP	楠	4	黒田	0
FP	吉田	2	山口	1
FP	河野	2	古澤	1
FP	畠山	1	山本	2
FP	平田	0	重松	2
FP	多田	4	鳥	3
FP	宇野	3	江頭	0
FP	小川	5	中村	0
FP	入江	0	伊東	0
PT	(0)		(0)	
計		21		11

（審・武田 秋永）

浦和実（埼玉） 26 〔16－4／10－6〕 10 大曲農（秋田）

〔戦評〕前半立ち上がりから浦和実のエース・佐藤がジャンプ・シュート、カットインとシュートを重ね、速攻、半速攻と多彩な攻めで雑な攻撃をくり返す大曲農の攻撃を4点に押さえ、前半を16－4とリードする。
後半に入っても浦和実の攻撃は衰えず、相手のノーマークシュートなどにより、また大曲農のディフェンスが荒くなり、退場者を続出し、一方的な試合となってしまった。（能波）

	〔浦和実〕	得	〔大曲農〕	得
GK	行武	0	草彅	0
GK	國本	0	大澤	0
FP	仲里	1	小松紀	3
FP	園部	3	斉藤	0
FP	山口	1	小松秀	1
FP	地引	2	長沢	1
FP	佐藤	9	今川	1
FP	三好	0	千葉	0
FP	小形	4	千田	0
FP	長島	3	松本	0
FP	中村	1	加藤	2
FP	田中	2	小松奈	2
PT	(2)		(4)	
計		26		10

（審・中川 岡本）

彦根商（滋賀） 17 〔9－4／8－2〕 6 暁（三重）

〔戦評〕前半、どちらも決定力に欠け、彦根商はフリースローなどで優勢を保つ。後半も、前半同様決定力なく、じりじりと点数が広がり、彦根商が押し切る。（上野）

	〔彦根商〕	得	〔暁〕	得
GK	柵池	0	高橋	0
GK	北川	0	渥美	0
FP	矢野	2	中根	0
FP	山田	2	豊田	0
FP	嶋佐	0	寺前	0
FP	安居	1	中川	3
FP	越智	5	江川	0
FP	間柴	0	小崎	0
FP	山尾香	3	伊藤	2
FP	吉本	4	小林	0
FP	山尾陽	0	永峰	0
FP	井出	0	西本	1
PT	(0)		(1)	
計		17		6

（審・奥田 丸谷）

新潟江南（新潟） 12 〔4－5／8－3〕 8 本庄（宮崎）

〔戦評〕本庄は立ち上がりから堅さが見られ、パスミスなどが多く、新潟江南が先制。江南のフローターからのポストプレーに対し、早い動きで相手ディフェンスの間に入ろうとする本庄であったが、シュートが目立ち、なかなかペースをつかめなかった。しかし本庄は、前半終了1分に江南ディフェンスの間を割って1点リードして前半を終了。
後半の本庄は足が動かず単発のシュートが多くなった。一方江南はロングシュート、ポストと2点を連取、4分に逆転、本庄の2人の退場に乗じてペースをつかみ、リードを広げていった。（中島）

	〔江南〕	得	〔本庄〕	得
GK	永井	0	巣山	0
GK	五十嵐	0	倉田	0
FP	武田	2	梅田	0
FP	遠藤	0	後藤	4
FP	結城	2	海老原	1
FP	源川	5	木下	0
FP	宇田	0	児玉	0
FP	宇井	2	上米良	0
FP	神林	1	桑原	0
FP	渋谷	0	阿部	0
FP	藤井	0	外山	3
FP	坂上	0	島脇	0
PT	(2)		(2)	
計		12		8

（審・額田 大塚）

夙川学院（兵庫） 15 〔6－6／9－3〕 9 山梨（山梨）

〔戦評〕前半、両チームともよく走り、動くのだが、緊張しているのかボールが手につかない状態でせっかくのチャンスも自らつぶすことが多く、一進一退で6－6となる。後半、夙川学院は速攻から加点していく。一方山梨は攻撃が単調になり敗退した。（井上）

	〔夙川〕	得	〔山梨〕	得
GK	松田	0	三森	0
GK	平塚	0	三枝	0
FP	伊藤	3	甘利	0
FP	西口	0	村田	4
FP	中村	0	佐藤	0
FP	上野	6	山本	1
FP	田口	0	土屋	3
FP	大林	2	功力	1
FP	新村	0	望月	0
FP	岡	3	平山	0
FP	江崎	0	古屋	0
FP	田淵	1	宮原	0
PT	(1)		(1)	
計		15		9

（審・井上 藤波）

山陽女（広島） 30 〔14―1／16―6〕 7 **粉河**（和歌山）

【戦評】立ち上がり、山陽女・土師のロングがフリースローから決まると、大山、長久、小原の速攻がおもしろいように決まり、前半16―1と一方的な試合展開となった。後半になって、ようやく粉河も走り回ってサイドから得点を重ねるが、山陽女の速攻は全然衰えることなく、最後まで走り続けた。（池田）

得	〔山陽女〕		〔粉河〕	得
0	森貞	GK	中尾	0
0	久保	GK	東	0
3	土師	FP	野口	1
1	飯田	FP	津梅	0
6	小原	FP	北田	2
10	長久	FP	松岡	3
2	許田	FP	三崎	0
4	大山	FP	渡辺	1
2	山中	FP	室井	0
0	南	FP	西野	0
2	山田	FP	清原	0
0	横田	FP		
30	(5)	PT	(2)	7

（審・上野、中島）

国学院栃木（栃木） 19 〔12―4／7―8〕 12 **国分実**（鹿児島）

【戦評】両チームともに緊張のせいか、前半立ち上がりミスが目立ち、国分実より一足早く国学院が相手チームのミスから速攻に出て得点したのをきっかけに、スピードのあるサイド、ポストプレーで得点を重ねる。また、国分実はペナルティーを機に少しずつ追い上げるが、前半12―4と差を縮めることができなかった。

後半に入り、立ち上がり国分ペースでゲーム展開され、3連続得点をしたが、相手チームの身長を生かしたフェイントからのポストシュートなどで得点され、前半の得点差がそのまま勝敗につながった。（武田）

得	〔栃木〕		〔国分実〕	得
0	佐藤	GK	有川	0
0	田中	GK	池田	0
2	中田	FP	山元宏	0
0	清水	FP	安山	3
0	寺内	FP	松元	1
0	田村	FP	本村	4
0	古川	FP	山元裕	2
1	高橋	FP	木原	2
5	西村	FP	坂本	0
4	新井	FP	泊	0
2	若林	FP	田中	0
5	寺内	FP	北井上	0
19	(4)	PT	(1)	12

（審・奥田、丸谷）

郡山女（福島） 22 〔10―2／12―4〕 6 **屋代**（長野）

【戦評】立ち上がり、郡山女はミドルシュート、速攻などでペースをつかんだ。一方屋代は、ミスが目立ち、なかなか自分のプレーができないようであった。中盤に入って、郡山女は持ち味を発揮し、次々に加点した。それに対して屋代は宇都宮の速攻などで巻き返しをはかるが、得点につながらず、12―4と郡山のリードで折り返した。後半に入って、屋代・中沢のロングなどで何とか反撃を試みるが得点につながらない。これに対して郡山は、速攻、遅攻にも持ち味を発揮し、結局22―6と郡山が圧勝した。（木村）

得	〔郡山女〕		〔屋代〕	得
0	鈴木	GK	羽田	0
0	柳沼	GK	宮坂	0
1	伊藤	FP	宇都宮	0
0	山城	FP	小山	1
0	七見	FP	倉田	1
5	伴野	FP	小田切	1
6	橋本	FP	桑原	1
5	青池	FP	中沢	2
2	渡辺律	FP	小林	0
0	安藤	FP	西沢	0
3	渡辺雪	FP	小泉	0
0	松立	FP	柿崎	0
22	(3)	PT	(0)	6

（審・茨木、辻）

福井商（福井） 15 〔8―8／7―4〕 12 **佐世保北**（長崎）

【戦評】佐世保は森を中心としたセットのチーム。福井商は速攻を中心のよく走るチームと対照的であったが、前半8―8で折り返す。

後半、10分過ぎまで一進一退であったが、福井商・金子、牧野らが連続速攻を決め、佐世保北をふり切った。（大原）

得	〔福井商〕		〔佐世保北〕	得
0	田中	GK	梅本	0
0	森	GK	島川	0
6	牧野	FP	中本	8
3	金子	FP	森	0
0	長谷川	FP	中地	2
1	帰山	FP	青井	1
1	篠田	FP	佐藤	1
0	小林	FP	今村	0
2	北村	FP	鳴川	0
2	朝倉	FP	赤木	0
0	松村	FP	松山	0
0	辻	FP	大坪	0
15	(4)	PT	(0)	12

（審・　）

鈴蘭台（兵庫） 14 〔8―5／6―5〕 10 **今治南**（愛媛）

【戦評】開始直後、鈴蘭台は今治南のスキをつき、サイドシュートにより先制点を得て気分を楽にした。今治南は気の緩んだ鈴蘭台につけ込み、ステップ、速攻などで得点を重ねた。しかし、前半、半ばからリズムが崩れ、鈴蘭台のリードで前半を終了した。

後半に入り、気分が楽になったせいか両チームともミスが目立ち、得点につながらなかった。鈴蘭台は地味な攻撃を続け、着々と得点を重ね勝利を得た。（松原）

得	〔鈴蘭台〕		〔今治南〕	得
0	中田	GK	鎌田	0
0	山口	GK	鳥生	0
0	糀谷	FP	山崎	0
2	勝島	FP	苅田	0
4	柿並	FP	渡部和	3
0	山田	FP	八木	3
2	野寄	FP	大澤	0
4	木田	FP	木村	1
2	小西	FP	渡部信	2
0	城	FP	加藤	0
0	岸本	FP	森	0
0	水田	FP	高田	1
14	(1)	PT	(2)	10

（審・夏目、松ケ谷）

四天王寺（大阪） 17 〔6―9／11―4〕 13 **清水西**（静岡）

【戦評】清水西は四天王寺のエース西村に対し1―5ディフェンスをひき、足を使った早いつめで攻撃リズムを与えず、速攻、ステップロングで加点。一方、四天王寺もフリースローなどで反撃するが9―6と清水西のリードで前半を折り返す。

得	〔四天王寺〕		〔清水西〕	得
0	水口	GK	坂本	0
0	梅本	GK	斉藤	0
3	石	FP	上倉	3
0	井上	FP	月見里	3
2	留河	FP	一ノ宮	1
2	中西	FP	畑口	2
1	久保	FP	清水	0
6	西村	FP	望月	3
0	堀畑	FP	竹澤	0
3	八木	FP	大畑	0
0	竹田	FP	青木	1
0	上田	FP	水口	0
17	(2)	PT	(0)	13

（審・島田、後藤）

後半開始早々、四天王寺の速攻フリースローで4点連取、この試合初めてリードをその後お互いに激しいチャージを見せるが、17－13で四天王寺が勝利を収める。

両チームともGKの好キーピングが目立った。（辻）

群女短大付（群馬）16〔9－7 7－6〕13 江津（島根）

〔戦評〕立ち上がり、江津は加戸、山崎を中心にミドル、ポストと決め、対する群馬女短大付も草野直、草野裕、木村と同様に決め、一進一退のゲームを展開。前半の終盤カットからの速攻で群女がリードして折り返す。

後半も、持ち味のポスト攻撃で攻めるが、互いにキーピングの良さに助けられ、ミスの多かった江津が惜敗した。（西園）

得	〔群馬女〕		〔江津〕	得
0	阿部	GK	野村	0
0	黒沢		森田	0
0	浅川	FP	花田	3
7	草野裕		山崎	3
4	木村		田中	3
5	草野直		加戸	2
0	大久保		小川	0
0	大沢		杉原	0
0	倉林		中上	0
0	美才治		山本	0
0	浅香		和田	2
0	発地		跡田	0
16	(1)	PT	(1)	13

〔審・八日市 加藤〕

岩国商（山口）25〔14－3 11－9〕12 函大付女商（北海道）

〔戦評〕開始1分、清水のシュートが決まり岩国商が先行する。その後も速攻、ミドルシュートと一方的に攻め、前半10分で7点差をつけた。函館女商も10分、三輪がペナルティーを決めるものの、前半を14－3で折り返した。

後半に入ると、函館女商もプレス気味のディフェンスで互角に展開するが、ミスが多く、どうしてもペースをつかむことができず、岩国商の快勝に終った。（武智）

得	〔岩国商〕		〔函館女〕	得
0	河原	GK	加藤	0
0	岡山		佐藤裕	0
5	吉田	FP	佐藤英	0
4	善本		浜口	4
3	上村		武田	0
2	清水		佐藤千	0
3	佐藤		中越	1
1	福永		和歌	0
1	浜田		森山	0
6	藤田		岡崎	3
0	西藤		三輪	4
0	松林		小島	0
25	(3)	PT	(5)	12

〔審・夏目 松ケ谷〕

熊本女商（熊本）17〔10－8 7－4〕12 添上（奈良）

〔戦評〕タイプの似ている両チームは全く互角にスタートしたが、ややボールコントロールに難のある添上は、得点チャンスにミスが重なり、連続得点がでにない。それに対して、熊本女商は11分から

得	〔熊女商〕		〔添上〕	得
0	城下	GK	開田	0
0	岩本			
1	斉藤	FP	檜垣	2
3	松村		掛本	4
5	松井		板垣	2
0	橋本		粭池	3
3	栗林		辰己	0
0	杉本		嶋田	1
0	高橋		国分	0
1	山田		辻	0
4	田中		宮原	0
0	鶴田		信原	0
17	(1)	PT	(2)	12

〔審・木村 福井〕

18分の間にキャプテン松井の絶妙なポストへのパスがつながり、4点を連続して決め、ペースをつかんで危なげなく逃げ切った。（島田）

2回戦

佼成学園女 21〔11－7 10－4〕11 東海女（愛知）

〔戦評〕開始早々、佼成のエース桐谷にマンツーマンをかけた東海女は、逆にディフェンスの広くなった所を左のエース執印に続けてロングシュートを決められ、ペースをとられる。中盤に入り、一線防御に変えた東海女に対して佼成はペースが乱れ、15分から20分にかけて東海女が4点を連取。しかし、東海女が再びマンツーマンを執印にかけたため、逆に佼成の他の選手の動きが良くなり、得点を重ねた。

後半立ち上がり、東海女は高い位置のプレス・ディフェンスをかけ、佼成のリズムを崩したが、エ

得	〔佼成女〕		〔東海女〕	得
0	戸塚	GK	河合	0
0	益子		小柳	0
5	高橋	FP	大橋	4
0	坂本		山田	1
6	執印		三好	1
2	村田		吉本	4
0	中沢		久米	1
5	桐谷		坂東	0
0	平内		内山	0
0	中社		児島	0
3	峯岸		坂東	0
0	細川		今瀬	0
21	(2)	PT	(2)	11

〔審・西田 大河原〕

ース2人のいる佼成は着実に得点を重ね、危なげなく逃げ切った。（島田）

筑紫女学園 23〔11－8 12－7〕15 玉野光南（岡山）

〔戦評〕開始早々、ロング、サイド、ポストと多彩な攻撃を見せる筑紫ペースで展開された。一方玉野光南は、初戦とあって立ち上がりやや堅さが見られたが、橋本のロングシュートで反撃、一進一退の攻防となって前半11－8と筑紫の3点リードで終る。

後半に入って、玉野光南はノーマークシュートのミスもあり、攻撃のリズムに乗れず、ジリジリと筑紫が引き離した。（井上）

得	〔筑紫女〕		〔玉野光南〕	得
0	堺	GK	森	0
0	梶原		片岡	0
1	内永	FP	岩城	1
4	並松		野崎	1
9	宮本		奥田	1
0	本田		橋本	10
4	増子		栗山	0
3	河内山		小野	0
2	森田		鷹田	2
0	中富		那須	0
0	和田		高塚	0
0	岩田		出原	0
23	(0)	PT	(1)	15

〔審・夏目 松ケ谷〕

高岡商（富山）23〔12－9 11－10〕19 高松商

〔戦評〕立ち上がり、高松商のパスミスから高岡商が速攻で2点を連取。さらに、ロング、サイドと加点、5分で5点のリードを奪いリズムをつかんだ。一方高松商は高岡商の高いディフェンスゾーンに悩まされたが、15分過ぎからフ

ロータ―、ポストがらみが良くなり、得点をあげる。ディフェンスも0―6から1―5に変わり、相手のパスをカットして速攻につなげた。結局、前半は12―9と高岡商の3点リードで折り返す。

後半に入って、両チームとも決め手がないまま中盤に突入。中盤高松商は連続退場があったがよくしのぎ、逆に速攻などで加点。一方高岡商もGKの好守などでペースをつかみ、互いに譲らず終盤へ。結局、高岡商が前半のリードを保って逃げ切った。（福井）

〔高松商〕

	氏名	得
GK	滝井	0
	木村	0
FP	植松	0
	楠	2
	吉田	1
	河野	1
	畠山	2
	平田	0
	多田	5
	宇野	5
	小川	3
	入江	0
PT	(3)	19

〔審・八師　加藤〕

〔高岡商〕

	氏名	得
GK	和田	0
	新谷	0
FP	島	7
	有沢	0
	笠島	0
	島谷	0
	矢田部	3
	長森	0
	荒崎	0
	藤井	4
	島木	7
	川腰	2
PT	(3)	23

浦和実 29 〔14―5 15―3〕 8 境（鳥取）

〔戦評〕立ち上がりから両チームとも激しい攻撃をくり返し、浦和実はフリースローからロング、サイドシュートなどで着々と得点を重ねた。一方境は、ミドル、ロングシュートで得点した。浦和実は中盤以降ますます波に乗り、速攻中心の攻撃で得点、14―5で前半を終了した。

後半に入って境が立て直しを図ったが、上手にリズムがつくれず、浦和実のペースでゲームが進められた。境も精一杯健闘したが、今一歩力が及ばなかった。（松原）

〔境〕

	氏名	得
GK	安倍	0
	新谷	0
FP	浜田	1
	上灘	3
	根平	1
	奥野	1
	管原	1
	中西	0
	南	0
	立花	0
	新田	1
	遠藤	0
PT	(0)	8

〔審・島田　後藤〕

〔浦和実〕

	氏名	得
GK	行武	0
	國本	0
FP	生井	1
	園部	2
	山口	0
	地引	4
	佐藤	10
	小形	0
	長島	11
	鈴木	0
	中村	0
	田中	1
PT	(1)	29

彦根商 21 〔9―3 12―5〕 8 水海道二（茨城）

〔戦評〕立ち上がり、両チームともきびきびとしたパス回しで展開。しかし、攻撃力に勝る彦根商が5分間で4―0とリード。中盤もGKの好守から速攻などで加点し、相手のシュートミスにも助けられ9―3と彦根商リードで終了。

後半もやや単調となった水海道二の攻撃を固いディフェンスで守り切り、速攻、フリースローからのロングシュートと着々と加点した。彦根商が快勝した。（能波）

〔水海道二〕

	氏名	得
GK	吉田	0
	柴	0
FP	鈴木	2
	倉持	5
	福田	2
	小野	0
	横田	6
	八十岡	0
	内藤	4
	門井	1
	山本	1
	山下	0
PT	(2)	21

〔審・上野　中島〕

〔彦根商〕

	氏名	得
GK	棚池	0
	北川	0
FP	矢野	2
	山田	5
	嶋佐	2
	安居	0
	越智	6
	間柴	0
	山尾香	4
	吉本	1
	山尾陽	1
	井出	0
PT	(3)	21

富岡東（徳島） 23 〔11―4 12―6〕 10 新潟江南

〔戦評〕立ち上がり両チームとも攻め手に欠けたが、中盤あたりから富岡東・笹谷のステップ、ミドルなどで徐々にペースをつかんでいった。これに対して、新潟江南はセットオフェンスで何とかリズムをつかもうとするが、ミスが目立つ。結局、11―4と富岡東のリードで前半を折り返した。

後半に入って、江南も必死に食い下がろうとするが、攻め手に欠ける。一方、富岡東は個人技を中心として加点、23―10で試合をものにした。（木村）

〔江南〕

	氏名	得
GK	永井	0
	五十嵐	0
FP	武田	1
	遠藤	0
	結城	2
	源川	2
	宇田	2
	宇井	2
	神林	1
	渋谷	0
	藤井	0
	坂上	0
PT	(2)	10

〔審・西園　大原〕

〔富岡東〕

	氏名	得
GK	数藤	0
	辻	0
FP	笹谷	8
	中村	2
	竹本	0
	山本	1
	程野	1
	米田	8
	井上	3
	関原	0
	澤田	0
PT	(1)	23

夙川学院 31 〔15―5 16―5〕 10 青森西（青森）

〔戦評〕立ち上がり10分までは、1―5ディフェンスから速攻を出し、青森西が3―2とする。しかし、その後夙川学院の高いディフェンスを攻めあぐみ、ミスから速攻を許し、7点、6点といった連続失点で夙川の一方的な展開となった。

後半、青森西は成田のサイドシュートなどで反撃を図ったが、前半同様に夙川に速攻を許し、大差がついた。（大河原）

〔青森西〕

	氏名	得
GK	杉山	0
	高坂	0
FP	福士	3
	小田	1
	成田	4
	白坂	0
	岡崎	0
	風晴	0
	木村	1
	仲居	0
	千葉	1
	石村	0
PT	(0)	10

〔審・松原　武智〕

〔夙川〕

	氏名	得
GK	松田	0
	平塚	0
FP	伊藤	4
	西口	3
	中村	1
	上野	2
	田口	3
	大林	14
	新村	1
	岡	1
	江崎	1
	田淵	1
PT	(1)	31

山陽女 24 〔11―2 13―0〕 2 小禄（沖縄）

〔戦評〕開始2分、ペナルティーで先制した山陽女は、速攻などで10分までに6―1とリードする。一方小禄もポスト、速攻で得点するが、ミスが多く山陽女のリードで前半を終了。後半も攻守に勝る山陽女の一方的な展開となり、大差がついてしまった。（夏目）

〔小禄〕

	氏名	得
GK	長嶺	0
	与儀	0
FP	平良	0
	高良	2
	宮平	0
	當間	0
	赤嶺	0
	上江田京	0
	天願	0
	上江田か	0
	大域	0
	新崎	0
PT	(0)	2

〔審・井上　能波〕

〔山陽女〕

	氏名	得
GK	森賀	0
	久保	0
FP	土師	3
	飯田	1
	小原	4
	長久	6
	許田	2
	大山	0
	山中	2
	南	0
	山田	5
	横田	1
PT	(3)	24

小松市女（石川）21（13−3, 8−8）**11 国学院栃木**

〔戦評〕国学院の遅攻を軽快なフットワークでかわし、早いボール出しから、ボールをつなぎ、速攻で着実に加点。特に阿部のサイドシュートは良くGKの動きを見てシュートし、確実に得点へと結びつけていた。

後半は国学院も意地を見せ、ペナルティーや逆速攻などで追いかけ、GKの得点も見られたが、前半の得点差が響き、大差で小松市女が勝利を得た。（武田）

得	〔小松女〕		〔栃木〕	得
0	牧	GK	佐藤	1
0	小前田		田中	0
4	阿部	FP	中田	2
5	谷本		清水	0
5	西田	（審・木村）	寺内	1
3	山本		田村	1
1	白川		古川	0
0	西出		西村	3
0	大田		新井	0
1	中島		若林	2
1	三安		飯塚	0
1	中坂		寺内	1
21	(3)	PT	(1)	11

郡山女 22（8−4, 14−0）**4 高知東（高知）**

〔戦評〕前半開始早々郡山女が得点したあと、両チームともに攻撃面が雑で、15分間ノーゴール。中盤からカットイン、ポストプレーが両チームともに決まり出し8−4で終了。

後半は、高知東は攻め手がなく無理なシュートで郡山女の反撃を食い、一方的なゲーム展開となった。（島崎）

得	〔郡山女〕		〔高知東〕	得
0	鈴木	GK	山崎	0
0	柳沼			0
1	伊藤	FP	山田	0
1	山城		松田	1
0	七見	（審・丸谷、奥田）	川添	0
1	伴野		三谷	0
5	橋本		野島	0
5	青池		近藤	0
7	渡辺律		大山	0
0	安藤		井上	0
2	渡辺雪		久永	2
0	松立		萩原	1
22	(0)	PT	(1)	4

川崎北（神奈川）13（7−1, 6−3）**4 福井商（福井）**

〔戦評〕前半、川崎北のすばらしいディフェンスが目についた。福井商が攻め切れず、2本のPTを1本はずし、得点は1点だけ。一方川崎北はオフェンスにもスピードがあり、各方向からカットイン7点を得る。

後半に入って福井商はよく攻めるが、シュートミスが多く、得点チャンスをものにすることができない。川崎北もよく攻めるが、GKの好守でなかなか得点にならず苦労したようだ。（加藤）

得	〔川崎北〕		〔福井商〕	得
0	森田	GK	田中	0
0	上瀧		森	0
3	井上	FP	牧野	1
4	奥山		金子	0
1	佐藤	（審・大塚、額田）	長谷川	1
3	山田		帰山	0
1	島袋		篠田	0
0	村端		小林	1
0	村上		北村	0
1	松井		朝倉	0
0	平田		矢尾	0
0	伊藤		松村	0
13	(3)	PT	(1)	4

鈴蘭台 10（6−6, 4−3）**9 養老女商（岐阜）**

〔戦評〕両チームとも立ち上がりよりよく走り、よく守り、ハツラツとしたプレーを展開。前半を6−6で終了。

後半に入っても両チーム決定力に欠け、一進一退をくり返し、残り7分で9−9。その後、養老女商は再三のノーマークシュートをGKの好守に阻まれ、リードを奪うことができない。残り20秒で鈴蘭台がPTを決め逃げ切った。

前・後半を通じてコート狭しと走り回った養老女商の健闘がたたえられる。（秋永）

得	〔鈴蘭台〕		〔養老女商〕	得
0	中田	GK	河合	0
0	山口		伊藤	0
0	糀谷	FP	山本	1
2	勝島		岩下	1
2	柿並	（審・村尾、佐谷）	草野	1
3	山田		瀬古	0
3	野寄		鎌澤	1
0	水田		猪熊	0
0	小西		古宮山	4
0	城		児玉	1
0	岸本		佐藤	0
0	水田		野口	0
10	(0)	PT	(0)	9

四天王寺 30（16−3, 14−2）**5 盛岡二（岩手）**

〔戦評〕スピード、パワーともに勝る四天王寺は、高く、つめの早いディフェンスで盛岡二に十分な攻撃をさせず、盛岡二のシュートやミスを終始速攻に結びつけ、着実に得点、一方的なゲーム展開で完勝した。（奥田）

得	〔四天王寺〕		〔盛岡第二〕	得
0	水口	GK	笹岡	0
0	梅本		斉藤	0
4	石	FP	菊池	4
1	井上		中谷	0
2	留河	（審・中川、岡本）	畠山	0
2	中西		金谷	0
5	久保		高橋	0
6	西村		菅原	1
4	八木		荒井	0
2	竹田		石倉	0
2	上田		西条	0
2	朝田		常川	0
30	(4)	PT	(0)	5

佐賀関（大分）19（10−8, 9−6）**14 群馬女短大付**

〔戦評〕開始2分、佐賀関・野中のポストシュートでスタートした。開始早々から両チームともミスが目立ち、雑な試合展開が中頃まで続いた。中盤からは両チームとも安定した試合運びとなったが、退場者2人を出した群馬女短付が2点のリードを許し折り返した。

後半、2点リードの佐賀関は気を良くし、高浪、祖田、吉永の活躍で加点、中盤からは群馬女短付も草野直を中心に反撃するが、退場者が多く、なかなか追加点をあげることができなかった。（茨木）

得	〔佐賀関〕		〔群馬女〕	得
0	丸尾	GK	阿部	0
0	太田		黒沢	0
6	高浪	FP	浅川	2
1	下郡		草野裕	2
3	野中	（審・額田、大塚）	木村	3
0	富松		草野直	4
0	田村		大久保	0
2	祖田		大沢	2
0	大本		倉林	0
0	渡辺		美才治	0
6	吉永		浅香	1
1	平山		発地	0
19	(6)	PT	(2)	14

岩国商 21 〔11—4 10—7〕 11 日大山形（山形）

〔戦評〕両チームとも速いボール回しにポストをからめ、カットインをねらう同型のチームであったが、岩国商がシュートを確実に決めたのに対し、日大山形はパスミス、キャッチミスが続き苦戦した。
後半、落ち着いた日大山形だけに、前半の7点差は大きかった。（村尾）

〔日大山形〕

	選手	得
GK	井沢	0
	後藤	0
FP	本田	2
	小高	0
	羽田	3
	宇野	5
	井田	0
	佐竹	0
	武田	0
	横戸	1
	吉田	0
	大山	0
PT	(1)	11

審・浜田　馬場

〔岩国商〕

	選手	得
GK	河原	0
	岡山	0
FP	吉田	5
	善本	3
	上村	4
	清水	1
	佐藤	3
	福永	0
	浜田	0
	藤田	4
	西藤	1
	松林	0
PT	(1)	21

昭和学院（千葉） 15 〔7—7 8—3〕 10 熊本女商

〔戦評〕両チームとも同じタイプのチームであり、昭和学院は斉藤、熊本女商は松井のロングがよく決まり、同点で前半を終った。
後半に入ると、昭和学院のディフェンスがよく守り、熊本女商のミスを誘い、着々と加点、ふり切った。（岡本）

〔熊本女商〕

	選手	得
GK	城下	0
	岩本	0
FP	斉藤	0
	松村	1
	松井	5
	橋本	0
	栗林	3
	杉本	1
	高橋	0
	山田	0
	田中	0
	鶴田	0
PT	(1)	10

審・井上　島崎

〔昭和学院〕

	選手	得
GK	石田	0
	時田	0
FP	鳥海	4
	唐沢	0
	中村	0
	三森	0
	小野	0
	竹田	4
	阿部	0
	山崎	1
	山田	1
	斉藤	5
PT	(2)	15

3回戦

佼成学園女 16 〔8—8 8—6〕 14 筑紫女学園

〔戦評〕立ち上がり2分、佼成女が桐谷のミドルシュートで先行、15分までに7—5とするが、筑紫女は並松を中心とする速い攻撃とディフェンスで中盤以降ペースを握り、同点で前半を終了した。後半に入ると、佼成・執印と筑紫・並松の打ち合いとなり、見応えのある試合展開となるが、ディフェンスのつめが甘くなったところを執印に打ちこまれた筑紫が苦杯をなめた。（武智）

〔筑紫女〕

	選手	得
GK	堺	0
	梶原	0
FP	内永	2
	並松	5
	宮本	3
	本田	0
	増子	2
	河内山	1
	森田	0
	中富	1
	和田	0
	岩田	0
PT	(2)	14

審・茨木　辻

〔佼成女〕

	選手	得
GK	戸塚	0
	益子	0
FP	高橋	1
	坂本	3
	執印	7
	村田	0
	中澤	0
	桐谷	4
	平内	0
	中社	0
	峯岸	1
	細川	0
PT	(4)	16

浦和実 26 〔12—4 14—8〕 12 高岡商

〔戦評〕高岡商は島木を中心に相手チームのスキを見て攻撃するがなかなかシュートチャンスをつかめない。一方浦和実は、相手チームのミスに乗じて速攻に結びつけ次々と加点する。
後半5分から10分にかけ、ようやく足が動くようになった高岡商が一時追い上げを見せたが、速攻でリズムをつかんだ浦和の勢いを止めることができず、次第に点差を広げられてしまった。（中島）

〔高岡商〕

	選手	得
GK	和田	0
	新谷	0
FP	島	1
	笠島	0
	島谷	0
	矢田部	2
	長森	1
	荒崎	0
	藤井	1
	島木	6
	川腰	1
	橋本	0
PT	(2)	12

審・村尾　佐谷

〔浦和実〕

	選手	得
GK	行武	0
	國本	0
FP	園部	2
	山口	0
	地引	3
	佐藤	7
	三好	1
	小形	3
	長島	7
	中村	2
	田中	1
	仲里	0
PT	(2)	26

彦根商 21 〔7—4 14—5〕 9 富岡東

〔戦評〕富岡東の先取点でゲームが始まるが、お互いにミスが多く20分過ぎまで3—3のゲーム展開となる。そこから彦根商が速攻などで加点、7—4とリードして前半を終了。
後半、やや単調となった富岡東の攻撃を固いディフェンスで守り速攻、フリースローで着々と加点、実力に勝る彦根商が快勝した。しかし、最後まで精一杯プレーを続ける富岡東のプレー態度に高校生らしい清々しさを感じた。（辻）

〔富岡東〕

	選手	得
GK	数藤	0
	辻	0
FP	笹谷	4
	中村	2
	竹本	0
	山本	0
	程野	1
	米田	1
	井上	1
	関原	0
	澤田	0
PT	(0)	9

審・西園　大原

〔彦根商〕

	選手	得
GK	棚池	0
	北川	0
FP	矢野	2
	山田	3
	嶋佐	3
	越智	3
	間紫	1
	山尾	2
	吉本	4
	山尾	2
	浅居	1
	井出	0
PT	(3)	21

山陽女 19 〔6—10 11—7 1—1 1—1 PTC 4—3〕 19 夙川学院

〔戦評〕立ち上がり、夙川がロング、カットインとすばらしいシュートが入り、リードしていった。一方山陽女もブロックからのカットインで得点するが、PTをはずし、10—6と夙川の4点リードで前半を終る。
後半に入り一進一退をくり返していたが、山陽女が速攻からポストと追い上げ、終了間際同点となって延長戦に入った。延長戦でも2—2の同点で決着

〔夙川〕

	選手	得
GK	松田	0
	平塚	0
FP	伊藤	2
	西口	5
	中村	0
	上野	1
	田口	1
	大林	2
	新村	0
	岡	0
	江崎	7
	田淵	1
PT	(3)	19

審・武田　秋山

〔山陽〕

	選手	得
GK	森貞	0
	久保	0
FP	土師	0
	飯田	0
	小原	1
	長久	9
	許田	1
	大山	3
	山中	1
	南	0
	山田	4
	横田	0
PT	(5)	19

がつかず、結局ペナルティースローコンテストで山陽女が4−3で劇的な勝利を収めた。（浜田）

小松市女23〔11−6 12−9〕15郡山女

〔戦評〕小松市女のスローオフで始まり、いきなり西田のロングシュートで先制した。郡山少もなんとか小松ディフェンスを崩そうとするが、1点目が9分、2点目が18分となかなか得点できない。一方小松市女は早いパス回しから1点ずつ加点していく。

郡山女もようやく前半残り5分から後半10分まで必死に攻撃をしかけ、五分の試合を展開する。だが、それも次第に疲れが目立ち、点差を広げられていまった。（中島）

得	〔郡山女〕		〔小松市女〕	得
0	鈴木	GK	牧	0
0	柳沼	GK	小前田	0
0	伊藤	FP	阿部	0
1	山城	FP	谷本	11
0	七見	FP	西田	16
5	伴野	FP	堀川	1
2	橋本	FP	山本	0
3	青池	FP	白川	0
0	渡辺律	FP	西出	0
0	安藤	FP	大田	0
4	渡辺雪	FP	中坂	0
0	松立	FP	三安	3
15	(5)	PT	(6)	23

（審・丸谷、奥田）

川崎北16〔10−6 6−7〕13鈴蘭台

〔戦評〕よく似たタイプ同士の対戦となったが、立ち上がりから川崎北がGKの好守でペースをつかみ、着々と加点していった。これに対して鈴欄台もセットオフェンスなどで反撃を試みるが、決定力を欠き、10−6と川崎北のリードで折り返した。

後半に入って、両チームとも持ち味を生かし、一進一退の攻防をくり広げるが、中盤すぎに川崎北に連続退場があり、そのスキに鈴欄台がペースをつかみ、速攻などで徐々に点差を縮めていった。しかし、川崎北も奥山の個人技などで盛り返し、両チームとも譲らず結局川崎北が前半のリードを守り16−13で勝利を握った。（木村）

得	〔鈴蘭台〕		〔川崎北〕	得
0	中田	GK	森田	0
0	山口	GK	上瀧	0
0	糀谷	FP	井上	6
4	勝島	FP	奥山	3
2	柿並	FP	佐藤	1
3	山田	FP	山田	3
1	野寄	FP	島袋	2
1	水田	FP	村端	0
2	小西	FP	村上	0
0	城	FP	松井	1
0	岸本	FP	平田	0
0	水田	FP	伊藤	0
13	(3)	PT	(2)	16

（審・中川、岡本）

四天王寺22〔6−7 16−5〕12佐賀関

〔戦評〕四天王寺は西村のロングシュートが決まらず、苦しい立ち上がりとなった。佐賀関はエリア前の細かいパス回しでポスト、ミドルをねらい、あせる四天王寺から二つの警告、ペナルティーを得て、守りのリズムを狂わせ、速攻を出させず、1点差の緊迫したゲーム展開となった。

後半に入り、守りの動きが良くなった四天王寺は、速攻、ペナルティーなどで8連続得点し、完全にペースをつかんで佐賀関を一方的に突き放した。（奥田）

得	〔佐賀関〕		〔四天王寺〕	得
0	丸尾	GK	水口	0
0	太田	GK	梅本	0
6	高浪	FP	石	5
1	下部	FP	井上	0
0	野中	FP	留河	1
0	富松	FP	中西	5
0	田村	FP	久保	1
1	祖田	FP	西村	6
0	大本	FP	堀畑	0
0	渡辺	FP	八木	4
3	吉永	FP	竹田	0
1	平山	FP	上田	0
12	(3)	PT	(2)	22

（審・額田、大塚）

昭和学院18〔13−4 5−10〕14岩国商

〔戦評〕立ち上がり両チームともやや堅さが見られたが、岩国商が速攻、ロングシュートと先制、しかし昭和も次第に動きが良くなり10分には5−3とリード。その後も岩国のミスが目立ち、そのミスを昭和が速攻へ結びつけ、ロングシュート、ポストシュートと着々と加点し、前半を13−4とリード。

後半に入り、前半には見られなかったミスが昭和に続出し、岩国が速攻に結びつけ、残り3分で14−17と3点差にしたが、前半の失点が大きく、力尽きた。（能波）

得	〔岩国商〕		〔昭和学院〕	得
0	河原	GK	石田	0
0	岡山	GK	時田	0
1	吉田	FP	鳥海	5
3	善本	FP	唐沢	0
5	上村	FP	中村	1
0	清水	FP	三森	0
2	佐藤	FP	小野	0
0	福永	FP	竹田	3
0	浜田	FP	阿部	0
3	藤田	FP	山崎	4
0	西藤	FP	山田	1
0	松林	FP	斉藤	4
14	(1)	PT	(2)	18

（審・井上、島崎）

準々決勝

浦和実17〔8−6 9−9〕15佼成学園女

〔戦評〕両チームとも立ち上がりからリズム良く3得点ずつをあげるが、その後は互いにミスが続き思うように得点できなかった。浦和実は前半の終盤、山口、佐藤のロングが決まり、逆に佼成女は執印のシュートが決まらず、2点差で前半を終了。

後半に入ると佼成女が連続得点を重ね逆転。浦和実は7分間得点できず、退場者を出す苦しい展開となったが、5人ディフェンスでよく守り、サイドプレーヤーの速攻、佐藤のロングで追いつき再度逆転。佼成女は、終盤エース執印の速攻。ロングで必死に追い上げるが、浦和実が僅差で逃げ切った。（中川）

得	〔佼成女〕		〔浦和実〕	得
0	戸塚	GK	行武	0
0	益子	GK	国本	0
5	高橋	FP	園部	3
1	坂本	FP	山口	2
5	執印	FP	地引	0
2	村田	FP	佐藤	6
0	中澤	FP	三好	0
1	桐谷	FP	小形	0
1	平内	FP	長島	6
0	中社	FP	中村	0
0	峯岸	FP	田中	0
0	細川	FP	仲里	0
15	(0)	PT	(1)	17

（審・井上、島崎）

浦和実が接戦を制す

山陽女 20（9－4、11－8）12 彦根商

〔戦評〕彦根商がPTで先制するが、山陽女が足を使った固いディフェンス、GKの好守、早いボール回しなどで着々と加点、7点を連取して優位にゲームを進める。

後半、彦根商もカットなどから走って反撃するが、互いに得点し前半の差は縮まらなかった。（馬場）

得	〔山陽女〕		〔彦根商〕	得
0	森貞	GK	棚池	0
0	久保	GK	北川	0
4	土師	FP	矢野	3
0	飯田	FP	山田	1
2	小原	FP	嶋佐	3
4	長久	FP	安居	0
2	許田	FP	越智	1
5	大山	FP	間紫	0
0	山中	FP	山尾	3
0	南	FP	吉本	0
3	山田	FP	山尾	1
0	横田	FP	井出	0
20	(1)	PT	(3)	12

〔審・岡本、中川〕

川崎北 23（12－5、11－10）15 小松市女

〔戦評〕川崎北がポスト、サイドで2点を連取。対する名門・小松市女は出鼻をくじかれ、少々あせり気味でゲームを展開する。また13分頃、小松市女・山本が負傷退場というアクシデントに見舞われ意気も上がらず、前半を12－5と川崎北リードで折り返し。

後半早々、小松市女の猛攻で4点差にまでなるが、川崎北・井上のゲームメイクにより終始リードした形でゲームを終えた。（西園）

得	〔川崎北〕		〔小松市女〕	得
0	森田	GK	牧	0
0	上瀧	GK	小前田	0
9	井上	FP	阿部	1
3	奥山	FP	谷本	6
0	佐藤	FP	西田	1
4	山田	FP	堀川	1
2	島袋	FP	山本	0
0	村端	FP	白川	1
0	村上	FP	西出	0
5	松井	FP	大田	2
0	平田	FP	中島	2
0	伊藤	FP	三安	1
23	(5)	PT	(3)	15

〔審・武田、秋永〕

四天王寺 19（8－4、11－5）9 昭和学院

〔戦評〕四天王寺は西村のロングで先取点を奪い、その後も固い守りからの速攻でじわじわと得点を重ねた。昭和学院は、斉藤のロングとエリア前の細かいパス回しからポストをねらう攻撃をするが、四天王寺GK水口の好守もあり、思うように得点できず苦しい展開となった。

後半、昭和は斉藤のロングが決まり出し、ペースをつかむかに思われたが、大事なところで四天王寺の速攻を許してしまい、最後まで力を出し切れなかった感がある。（奥田）

得	〔四天王寺〕		〔昭和〕	得
0	水口	GK	石田	0
0	梅本	GK	時田	0
4	石	FP	鳥海	0
1	井上	FP	唐沢	0
3	留河	FP	中村	1
1	中西	FP	三森	0
0	久保	FP	小野	0
5	西村	FP	竹田	3
0	堀畑	FP	阿部	0
5	八木	FP	山崎	1
0	竹田	FP	山田	1
0	上田	FP	斉藤	3
19	(2)	PT	(0)	9

〔審・松原、武智〕

準決勝

浦和実 24（13－6、11－8）14 山陽女

〔戦評〕立ち上がり、互いにGKの好守にシュートを阻まれ、3分30秒、浦和がサイドシュートを決めて先制、以後4点を連取。しかし、山陽もずらしからのサイドシュートで返すが、浦和は佐藤のダイナミックなロングシュートで着々と加点。

山陽も佐藤へのマンツーマンを試みるが、フリースローからロングシュートを決められ、打つ手がなくなる。

後半立ち上がり一進一退であったが、速攻、ロング、サイドシュートと多彩な攻撃力を持つ浦和実が快勝した。（西園）

得	〔浦和実〕		〔山陽女〕	得
0	行武	GK	森貞	0
0	国本	GK	久保	0
1	園部	FP	土師	0
3	山口	FP	飯田	0
3	地引	FP	小原	3
7	佐藤	FP	長久	3
0	三好	FP	許田	1
4	小形	FP	大山	5
6	長島	FP	山中	0
0	中村	FP	南	0
0	田中	FP	山田	2
0	仲里	FP	横田	0
24	(1)	PT	(1)	14

〔審・井上、島崎〕

川崎北 11（5－3、6－6）9 四天王寺

〔戦評〕井上を中心とする試合巧者の川崎北と西村のロングシュート、速攻と攻撃力を誇る四天王寺の対戦。川崎北の2点連取で始まったが四天王寺が3点を連取、再び川崎北が得点するなど一進一退の展開を見せた。後半17分、川崎北・井上の退場を機に四天王寺が逆転した。しかし、川崎北は奥山らの活躍で3点を連取して再逆転、そのまま逃げ切った。（中島）

得	〔川崎北〕		〔四天王寺〕	得
0	森田	GK	水口	0
0	上瀧	GK	梅本	0
2	井上	FP	石	0
2	奥山	FP	井上	1
3	佐藤	FP	留河	3
0	山田	FP	中西	2
2	島袋	FP	久保	0
0	村端	FP	西村	3
0	村上	FP	堀畑	0
2	松井	FP	八木	0
0	平田	FP	竹田	0
0	伊藤	FP	上田	0
11	(1)	PT	(2)	9

〔審・中川、岡本〕

決勝

浦和実 21（13－10、8－9）19 川崎北

〔戦評〕川崎北はディフェンスから早いボールのつなぎで先制したが、11分までそれぞれ得点をあげ7－7。それ以後、浦和実・長島のサイド、佐藤のフリースローなどで3点をリードして前半終了。

後半も浦和ペースで始まったが10分過ぎより川崎北は走り出し、23分には1点まで追い上げたが、浦和実・佐藤に決められ、結局2点差で終了した。お互いに持ち味を出し切った好ゲームであった。（馬場）

得	〔浦和実〕		〔川崎北〕	得
0	行武	GK	森田	0
0	國本	GK	上瀧	0
0	生井	FP	井上	3
1	園部	FP	奥山	8
0	山口	FP	佐藤	1
2	地引	FP	山田	3
10	佐藤	FP	島袋	1
0	三好	FP	村端	1
1	小形	FP	村上	0
7	長島	FP	松井	2
0	中村	FP	平田	0
0	田中	FP	伊藤	0
21	(0)	PT	(0)	19

〔審・井上、島崎〕

'88ソウルオリンピック 公式試合球
FOR THE 1988 SEOUL OLYMPIC GAMES
OFFICIAL GAME BALL
MTH3AD
Selected cow-hide
molten
Made in Japan
Tango
official size weight
© 1983 SLOOC JSMIO4 TM
日本で最初の国際ハンドボール連盟(I.H.F)公認球、モルテンハンドボール。その独特のリブ形状とパネル間の段差による"32面体ノンスリップ構造"で、確かな手がかりをつくり上げ、世界中のハンドボーラーから高い信頼を集めています。そしていま、新たに'88ソウルオリンピックの公式試合球に決定!その真価を発揮します。
molten®
株式会社モルテン
東京本社　東京都墨田区横川5丁目5-7 〒130 ☎(03)625-7581(代)
大阪・名古屋・福岡・広島・札幌・ロサンゼルスU.S.A.・デュッセルドルフW.G.

果樹園と高原と。
山梨の自然のおいしさを
お菓子にたくして、日本全国へ。
Châteraisé
株式会社シャトレーゼ
山梨県東八代郡中道町下曽根3440-1 〒400-15
電話(0552)66-5151(大代)

兵庫インターハイを振り返って

〈女子初優勝〉

浦和実業学園高校・山田克彦

　昭和59年、秋田インターハイ、男子初優勝に次いで、今年の兵庫インターハイでは女子が二度目の出場で初優勝を果たすことが出来ました。今年のチームは、チーム・ワークをモットーに、レギュラー7人を3年生で構成。各ポジションに個性豊かな選手が育った。左サイド、長島はワンマン速攻を得意とし、フェイント力は抜群、サイドシュートにはハイテクニックを擁する。左45度、エース佐藤はロングシュートには威力があり、ポストパスにも器用さがある。左ポスト、地引はポストシュートはもちろん、カットイン・プレーにも鋭さがあり、ディフェンスの読みと判断は抜群である。右45度山口はチーム一番の長身選手であり、変則的なロングシュートを放ち、相手GKのキーピングを迷わすほどである。また、ムード・メーカーとして、チームに明るさをもたらした。右ポスト・園部は、ポストシュートの確率は高く、ディフェンスも堅実、チーム・キャプテンとして良くチームをまとめた。右サイド・小形は、小柄ながら速攻からのパス・ワークは他の選手にはないテクニックを擁している。そして守りの要・GK行武はノーマークに強く、持ち前の強肩を生かしてのGKスローは速攻の原動力となった。こういった理想的な7人で今年のチームは構成された。

　昭和62年11月に行なわれた新人戦では、川口青陵を決勝で破っての優勝。翌年2月に行なわれた全国選抜大会関東予選に出場。リーグ戦、第1回戦、千葉県・昭和学院と対戦。後半残り1分、2点差で勝っていながらも、何でもないサイドからのパスを連続2本、インターセプトされて、逆速攻。同点とされ試合終了。第2回も勝てた試合を同点とされたショックと気負いによって敗戦。全国選抜大会の切符を手に入れることができなかった。

　この日から精神面の強化を課題として、①キャプテンシー作り、②チーム・ワークの向上、③集中力アップの3点を重点に練習を再開した。

　6月、関東大会県予選、川口青陵と2度目の決勝戦。後半、残り30秒1点負けをエース佐藤のロングシュートで同点に追い着き、延長戦となる。延長に入っては、佐藤のロング、長島の速攻で3点差で優勝を決めた。少しずつ粘りが見えて来た。そして、関東大会2月の全国選抜大会関東予選の二の舞いを踏まぬよう、また、「関東制覇」を目標として臨んだが、準決勝、東京都、佼成学園女子と対戦、9点差という大差で敗れた。この試合は、エース佐藤が佼成の執印に打ち負けた試合であった。この日から佐藤の精神面とロングシュートの強化が始まった。幸いにして、インターハイ県予選前に全日本ジュニア候補の強化合宿に参加することが出来て、精神面の安定性が生まれて来た。6月28日、いよいよインターハイ県予選決勝。3度目の勝負となった川口青陵戦、前半4対6。後半の立ち上がりで4対9と引き離されたが、中盤、長島の速攻、地引のカットインプレーなどによって、12対12と同点に追いつき、23分、エース佐藤の12mからのロングシュートが決まり、13対12でインターハイの切符を手に入れた。エース佐藤をはじめ、7人の選手たちの精神力、チーム・ワーク力の勝利であった。

　翌日より、インターハイで勝つために暑さ対策として厚着をしての練習が始まったものの、今年は梅雨がなかなか明けず、満足な練習も出来ないまま、インターハイの日が近づいて来た。そんな折り

に、大崎電気女子監督の佐藤さんより練習に来るように連絡があった。喜んで参加させて載いた。2日間ではあったが、大崎電気との試合では、スピードにも慣れ、高いディフェンスの上からも佐藤のロングシュートも決まり、チーム全体に自信が見られるようになって来た。また、佐藤監督さんの御指導により、速攻に一段と磨きがかかり、ディフェンスもコンビネーションが合って来た。

いよいよ8月2日、第1回戦。秋田県大曲農高と対戦。前年度準優勝チームであり、速攻を得意とした攻撃パターンなので、暑さ負けせぬようウォーミングアップの時間を20分として試合に臨んだ。前半、立ち上がりエース佐藤のロングシュートが入り、ムード良く前半16対4で試合を決めた。結局27対9で圧勝した。第2回戦、鳥取県境高校と対戦。佐藤のロング、長島の速攻で29対8で勝ち、第3回戦、富山県高岡商高ともロングと速攻で26対12とベスト8に駒を進めた。

準々決勝、今大会一番のヤマ場とも言える佼成学園女戦。関東大会では大差で負けているが、選手たちはこの一戦のためにあの日から練習を頑張って来た。前半、すぐに執印にロングを決められたが長島の速攻で1対1とする。その後一進一退の攻防が続いたが、後半に佐藤のロングが決まり始め8対6で前半を修了。後半、立ち上がりサイドシュートを立て続けに3本、速攻とで8対10と逆転される。しかし、長島のサイドシュート2点で10対10と同点に追い着く。その後両エースの打ち合いとなったが、10分過ぎ、佐藤はPTを含めて3連取、執印はロング一本と20分までに16対13と逆転をした。残り5分、執印にロングシュートを2本許したものの、長島のサイドで突き放し、17対15で準決勝進出を決める。準決勝では、広島県山陽女子高校と対戦。前日、佼成に勝った自信か、前半から佐藤のロングと長島の速攻が良く決まり、13対6と試合の主導権を握る。後半も小形、長島の速攻が決まり、24対14で決勝進出を決める。

とうとう決勝の日がやって来た。ここまで来るとは思わなかったが、準々決勝・佼成学園に勝ってからはチームのムードも良く、決勝の対戦相手が川崎北高校と知って「優勝」出来ると私以上に選手たちが思ったようだ。それは練習試合で一度も負けなかったことも大きな自信となっていた。

8月7日、9時、決勝戦開始。選手たちには「走られるな、もどりを早く、相手の明るいムードに飲まれるな」と指示を出した。

さあ試合開始、案の上、開始早々、川崎北に走られ5分までに3対4とリードを許すが、15分には佐藤のロング8対7と逆転する。その後、長島のフェイントからのサイドシュートと速攻で11対8と差を広げ、前半、13対10で終了。後半に入って、10分までには6点差とリードを広げたが、その後5分間で川崎北3番奥山に4連続得点を許し3点差と差を縮められ、ムードの上がった川崎北は走りに走りまくって速攻、カットインなどで引き分けには1点差までに追い上げられた。ここで作戦タイムを取り、佐藤にシュート・コースを指示、すぐに言われたコースに決め、2点差とする。あと2分、長島の速攻で追加が取れるかと思ったが、GKに阻止され、逆速攻となるが相手もライン・クロスでラッキーとなる。残り30秒、マイボール。選手たちは時間を稼ぐためにゆっくりボールをまわしていた所、パッシブ・プレーを取られた。その笛を試合終了の笛と感違いして選手たちは喜び合い出したため、すぐに注意をして、ディフェンスにもどらせる。残り5秒。相手がフリースローからパスを出して、攻撃を仕掛けた所で今度は終了の合図。女子を持って6年で全国優勝が出来ました。

最後に、御父兄の皆様方並びに学校関係各位の皆様方には御支援、御協力を頂きまして試にありがとうございました。尚一層精進し、より良いチーム作りを目指して頑張ります。

第8回全国クラブ選手権

浦和クラブが初優勝（男子）
全福岡は3年ぶりの栄冠（女子）

〔8月13日〜15日／愛媛県総合運動公園体育館・松山市総合コミュニティセンター体育館〕

第8回全国クラブ選手権大会は、8月13日から15日までの3日間、愛媛県松山市で開催されました。男子は24チーム、女子は14チームが参加しましたが、男子は昨年の国体開催ですっかり力をつけた沖縄の浦添クラブが初優勝、女子は全福岡が3年ぶりの優勝を飾った。

男子

◇予選リーグ

○Aゾーン

大同ク（愛知）19（12—5、7—7）12 ラージェスト（東京）

大同ク 24（11—7、13—6）13 生駒ス（奈良）

ラージェスト 14（7—7、7—6）13 生駒ク

○Bゾーン

東山クA（京都）21（11—13、10—5）18 讃岐ク（香川）

東山クA 25（13—8、12—10）18 徳山ク（山口）

讃岐ク 19（10—10、9—5）15 徳山ク

○Cゾーン

富岡ク（群馬）18（10—2、8—8）10 県和商ク（和歌山）

富岡ク 21（11—8、10—8）16 松山ク

県和商ク 27（16—7、11—4）11 松山ク

○Dゾーン

氷見ク（富山）25（11—10、14—9）19 七戸ユニオン（青森）

氷見ク 28（19—11、9—4）15 清商ク（静岡）

七戸ユニオン 27（16—8、11—7）15 清商ク

○Eゾーン

日川ク（山梨）28（16—7、12—7）14 はまなすク（北海道）

日川ク 29（15—8、14—8）16 下関ク（山口）

はまなすク 20（12—6、8—12）18 下関ク

○Fゾーン

本田ク（三重）16（6—6、10—8）14 小松ク（石川）

本田ク 22（10—9、12—8）17 IHク（神奈川）

小松ク 20（9—9、11—2）11 IHク

○Gゾーン

桜門ク（東京）20（12—6、8—12）18 高知ク（高知）

桜門ク 20（11—6、9—5）11 盛岡商友会（岩手）

高知ク 18（9—2、9—6）8 盛岡商友会

○Hゾーン

浦添ク（沖縄）18（11—8、7—10）18 境港ク（鳥取）

浦添ク 26（11—8、15—6）14 ボンチフエローズ

境港ク 23（11—8、12—9）17 ボンチフエローズ（大阪）

◇決勝トーナメント

1回戦

高知ク 24（10—9、14—9）18 東山ク

氷見ク 22（13—9、9—8）17 はまなすク

本田ク 29（15—10、14—5）15 県和商ク

浦添ク 32（14—8、18—9）17 ラージェスト

大同ク 24（11—10、13—5）15 境港ク

小松ク 21（11—11、10—7）18 富岡ク

日川ク 24（13—12、11—8）20 七戸ユニオン

桜門ク 29（13—13、16—8）21 讃岐ク

◇2回戦

大同ク 26（12—9、14—5）14 高知ク

氷見ク 23（13—10、10—10）20 小松ク

本田ク 21（12—8、9—10）18 日川ク

浦添ク 28（11—8、17—13）21 桜門ク

◇準決勝

氷見ク 22（11—7、11—10）17 大同ク

〔戦評〕前半は、大同クラブがセットプレーを中心に、氷見クラブは速攻が冴え、一進一退の攻防が続いた。

後半は、スタミナに勝る氷見クラブが多彩な攻撃を見せ、テクニックを駆使する大同クラブを押さえた。（白石）

〔大同〕	得
柳川清	0
小野	0
柳川実	3
藤中	3
加藤	1
中井	0
松原	2
大原	7
更谷	0
清崎	1
桑幡	0
鈴木	0
PT (2)	17

GK（柳川清・小野）　FP（柳川実〜鈴木）　PT（審・松原、武智）

〔氷見〕	得
水谷	0
桜内	0
金原	5
瀬戸	0
中原	2
矢田	3
堀川	1
森	0
山崎	7
中山	4
指崎	0
小坪	0
PT (0)	22

GK（水谷・桜内）　FP（金原〜小坪）

浦添ク 19（9—8、10—9）17 本田ク

〔戦評〕序盤5分間はお互いに堅さがとれず、ロースコアの展開となる。7分過ぎから、速攻と早い動きのコンビの浦添クラブ、セットのコンビネーションの本田クラブが互いに持ち味を出し、一進一退の攻防が続いたが、前半終了寸前、浦添クラブがペナルティーを得て、10—9と1点リードして前半を終了した。

後半に入って、本田クラブはミドルシュートが決まり始めて逆転する。しかし、浦添クラブも喜舎場へのミドルなどで懸命に追い上げ、残り10分で3点差。ここで本田・矢野退場の間に2点を連取、さらにGK高良毅の好キープからの連続速攻で逆転、気迫のディフエンスで残り2分を守り切り、浦添クラブが逃げ切った。（川田）

〔本田〕	得
柴田	0
西田	0
佐々木	5
喜井	1
玉井	2
矢野	3
坂本	4
小川	1
三本松	1
PT (1)	17

GK（柴田）　FP（西田〜三本松）　PT（審・白石、柳原）

〔浦添〕	得
高良靖	0
高良毅	0
黒島	3
新垣	0
宮城	0
上原	1
東江一	0
新里	0
喜舎場	7
東江正	5
比嘉	3
宮里	0
PT (4)	19

GK（高良靖・高良毅）　FP（黒島〜宮里）

◇決勝

浦添ク27（15―11, 12―11）22氷見ク

〔戦評〕先取点は、開始30秒、浦添クラブがリバウンドからの速攻で決めた。その後、5分に氷見クラブが1名退場の間に浦添クラブは2点連取するなど10分には8―4とリードした。その後、両チームとも一進一退を続け、浦添クラブのリードで前半を折り返した。
後半に入っても、浦添クラブはGK高良毅の好守と新垣、東江などが加点した。一方氷見クラブも中原、金原などが得点を重ねたが、一歩及ばなかった。（伊藤）

	〔氷見〕	得
GK	水谷	0
GK	桜内	0
FP	金原	7
FP	瀬戸	0
FP	中原	3
FP	矢田	4
FP	堀川	2
FP	森	0
FP	山崎	3
FP	中山	3
FP	指崎	0
FP	小坪	0
PT	(0)	22

（審・竹村・坂井）

	〔浦添〕	得
GK	高良靖	0
GK	高良毅	0
FP	黒島	4
FP	新垣	6
FP	宮城	0
FP	上原	4
FP	東江一	0
FP	新里	1
FP	喜舎場	5
FP	東江正	7
FP	比嘉	0
FP	宮里	0
PT	(0)	27

見事初優勝を飾った浦添クラブ

3年ぶりの優勝を果たした全福岡

女子

◇予選リーグ

○イ・ゾーン

あゆみク（三重）9（2―3, 7―4）7小松ク（石川）

○ロ・ゾーン

滋賀ク（滋賀）16（8―5, 8―5）10 OHB・MIZ（大分）

滋賀ク14（6―4, 8―7）11日川ク（山梨）

OHB MIZ 22（11―2, 11―9）11日川ク

○ハ・ゾーン

天城ク（群馬）14（10―2, 4―4）6今治南ク（愛媛）

天城ク13（8―2, 5―7）9東京女子（東京）

今治南ク12（5―7, 7―4）11東京女子

○ニ・ゾーン

広島ク（広島）13（7―6, 6―6）12オール香川（香川）

広島ク21（8―6, 13―1）7緑商ク（愛知）

オール香川14（7―1, 7―5）6緑商ク

○ホ・ゾーン

全福岡（福岡）18（9―5, 9―3）8徳山ク（山口）

全福岡14（9―2, 5―2）4オレンジク（栃木）

徳山ク16（7―2, 9―2）4オレンジク

◇決勝トーナメント

1回戦

OHB MIZ 22（10―7, 8―11, 1―1, 3―2）21徳山ク

小松ク14（9―6, 5―5）11今治南ク

◇2回戦

広島ク17（6―7, 11―7）14天城ク

オール香川11（5―5, 6―5）10滋賀ク

MIZ OHB 16（7―6, 9―6）12あゆみク

全福岡16（8―1, 8―5）6小松ク

◇準決勝

広島ク22（10―8, 12―8）16 MIZ OHB

〔戦評〕両チームとも得点チャンスに着実に得点し、一進一退のゲーム展開であったが、広島クがリード。OHBも一度は追いついたが、パスミスなどでリズムに乗り切れなかった。（小松）

	〔OHB〕	得
GK	都	0
FP	近藤	2
FP	穴見	3
FP	吉尾	0
FP	矢田	3
FP	三代	4
FP	紀野	1
FP	島村	3
PT	(0)	16

（審・野中・伊藤）

	〔広島〕	得
GK	永岡	0
FP	本西	1
FP	水木	0
FP	山田	3
FP	猫本	3
FP	中田	8
FP	長谷部	4
FP	藤岡	3
FP	吉中	0
PT	(2)	22

全福岡11（5―4, 6―2）6オール香川

〔戦評〕立ち上がり6分、オール香川・笠井のミドルシュートで先行、10分までに3点を連取するが、その後速攻を中心とした速い攻撃で福岡が5―4として前半を折り返した。後半に入ると両チームともディフェンスを固め、点がなかなか入らずロースコアーの展開となるがシュートに正確性のある福岡が香川を押し切った。（武智）

	〔香川〕	得
GK	鎌田	0
GK	松川	0
FP	谷本	1
FP	笠井	1
FP	末佐	0
FP	河野	2
FP	橘	1
FP	福崎	1
FP	天野	0
PT	(0)	6

（審・小松・高橋）

	〔福岡〕	得
GK	上野	0
FP	今村	2
FP	松田	4
FP	藪田	2
FP	妹川	0
FP	田中	0
FP	尾木	2
FP	田口	0
FP	橋本	0
FP	長澤	1
PT	(1)	11

◇決勝

全福岡17（9―2, 8―8）10広島ク

〔戦評〕福岡は、今村を中心に早い動きと確実なパスワーク、尾木今村の速攻、藪田、田中のポストシュートで着実に得点するが、広島は動きの良い福岡のディフェンスを崩すことができず9―2で前半を終了する。
後半に入っても、福岡はリズムに乗った早い動きで確実に得点し3年ぶりに優勝を飾った。（高橋）

	〔広島〕	得
GK	永岡	0
FP	本西	0
FP	水木	0
FP	山田	2
FP	猫本	1
FP	中田	5
FP	長谷部	2
FP	藤岡	0
FP	吉中	0
PT	(0)	10

（審・松原久・松原誠）

	〔福岡〕	得
GK	上野	0
GK	沢辺	0
FP	今村	3
FP	松田	3
FP	藪田	3
FP	妹川	1
FP	尾木	2
FP	田口	2
FP	橋本	0
FP	長澤	2
PT	(0)	17

各地の記録から・・・

東北

第11回東北クラブ選手権

（6月18日、19日・青森県七戸町立体育館）

〈男子〉

花巻ク（岩手） 35—28 東北大学OB（宮城）

野辺地ク（青森） 36—17 羽後ク（秋田）

七戸ユニオン（青森） 32—13 仙台育英ク（宮城）

盛岡商友会（岩手） 25—24 湯沢ク（秋田）

▼準決勝

花巻ク 30—23 野辺地ク

盛岡商友会 23—19 七戸ユニオン

▼決勝

花巻ク 30（15—10、15—13）23 盛岡商友会

〈女子〉

▼リーグ戦

全和洋ク（秋田） 23—22 あすなろク（青森）

全和洋ク 17—14 野辺地ク（青森）

あすなろク 18—16 野辺地ク

［順位］①全和洋ク②あすなろク③野辺地ク

全国中学校青森県予選

（7月9、10日）

▼リーグ戦

荒川中 14（6—6、8—4）10 野辺地中

野辺地中 20（12—5、8—8）13 油川中

荒川中 29（13—1、16—2）3 油川中

［順位］①荒川中②野辺地中③油川中

国体青森県予選

（7月9、10、16、17日）

〈成年男子1部〉

▼リーグ戦

青森マスターズ 27—23 青森ク

青森マスターズ 26—24 七戸ユニオン

七戸ユニオン 35—28 青森ク

［順位］①青森マスターズ②七戸ユニオン③青森クラブ

〈成年男子2部〉

野辺地ク 44—13 海自第2航空群

野辺地ク 46—14 海自第2航空群

［順位］①野辺地クラブ②海自第2航空群

〈成年女子〉

▼リーグ戦

あすなろク 39—11 七戸ク

野辺地ク 40—12 七戸ク

あすなろク 29—16 野辺地ク

［順位］①あすなろクラブ②野辺地クラブ③七戸クラブ

〈少年男子〉

▼1回戦

青森高 35—15 七戸高

柏木農高 28—10 三本木高

青森南高 32—16 十和田工高

青森山田高 37—18 野辺地工高

▼2回戦

青森商高 39—10 青森高

青森東高 30—19 柏木農高

今別高 31—19 青森南高

野辺地高 38—22 青森山田高

▼準決勝

青森商高 32—13 青森東高

今別高 27—24 野辺地高

▼決勝

青森商高 31（12—5、19—11）16 今別高

〈少年女子〉

▼1回戦

七戸高 15—13 青森東高

▼2回戦

青森西高 29—3 七戸高

今別高 16—10 青森商高

野辺地高 30—8 三本木高

青森中央高 33—13 野辺地工高

▼準決勝

青森西高 33—10 今別高

青森中央高 15—12 野辺地高

▼決勝

青森西高 25（11—11、11—11、1—1、2—1）24 青森中央高

関東

東京都春季大会兼関東大会予選

〈男子〉

▼1回戦

府中西 24—19 野津田

永山 17—10 忠生

江戸川 25—17 白鴎

深川 21—16 江北

国立 23—16 小金井北

東大和 キケン 松が谷

佼成 12—4 南葛飾

本所 29—10 東

南多摩 22—12 東京菅生

府中東 16—10 館

武工大附 25—5 上野

大泉 20—7 青学

開成 20—15 安田学園

中大附 30—10 秋川

田無 17—15 明星学園

日大二 24—11 石神井

足立 キケン 篠崎

富士森 23—10 武蔵

調布北 30—11 久留米

広尾 35—10 高島

井草 16—14 鷺宮

錦城 20—17 砂川

武蔵野北 27—6 山崎

成城 24—12 世田谷工

早大学院 23—8 早実

保谷 20—18 武蔵村山東

豊多摩 12—10 筑波大駒場

明正 28—7 城西

新宿 16—14 荻窪

東大和南 19—12 福生

科学技術 18—15 片倉

大崎 17—14 蒲田

富士 15—8 雪ヶ谷

▼2回戦

府中西 46—10 南平

永山 18—9 昭和

江戸川 14—11 江東工業

学芸大附 15—9 深川

国立 24—13 立川

東大和 29—16 武蔵村山

西 20—9 佼成

本所 31—12 両国

南多摩 12—11 三鷹

日野 18—7 府中東

武工大附 15—10 南

大泉 26—19 開成

中大附 26—5 桜美林

日野台 33—18 田無

日大二 52—8 小石川

足立 20—12 城北学園

富士森 23—16 秋留谷

調布北 19—11 清瀬

墨田川 23—15 広尾

修徳 36—7 井草

久留米西 32—11 錦城

五商 17—16 武蔵野北

小岩 26—10 成城

早大学院 22—21 駒大高

神代 20—18 保谷

昭和一工 17—15 小平南

明正 27—22 豊多摩

青山 22—10 新宿

国分寺 19—12 東大和南

南野 24—9 科学技術

大崎 15—10 大森東

富士 20－17 葛飾

▼3回戦
府中西 19－10 永山
学芸大付 16－15 江戸川
3PTC2
国立 22－18 東大和
西 20－11 本所
日野 29－5 西多摩
大泉 23－14 武工大附
中大附 22－20 日野台
日大二 21－7 足立
調布北 16－9 富士森
修徳 26－14 墨田川
久留米西 40－11 五商
小岩 24－15 早大学院
神代 20－13 昭和一工
青山 27－21 明正
国分寺 24－9 南野
富士 21－11 大崎

▼4回戦
学芸大附 16－5 府中西
国立 24－14 西
日野 24－8 大泉
中大附 19－16 日大二
調布北 21－18 修徳
久留米西 22－21 小岩
神代 18－14 青山
南野 13－10 富士

▼5回戦
明星 26－5 学芸大附
国立 27－24 八王子東
府中 14－7 日野
東京 18－8 中大附
日体荏原 26－6 調布北
東村山 21－20 久留米西
農大一 16－12 神代

拓大一 28－2 南野

▼準々決勝
明星 38－15 国立
東京 21－9 府中
日体荏原 35－20 東村山
拓大一 23－10 農大一

▼準決勝
東京 25－24 明星
日体荏原 20－18 拓大一

▼決勝
日体荏原 19（7－11、12－7）18 東京

〈女子〉

▼1回戦
田無 6－5 東大和南
日野 20－5 八王子東

▼2回戦
保谷 17－2 武蔵野北
調布北 11－2 野津田
葛飾野 35－3 一商
武蔵野女 11－9 福生
府中 キケン 羽村
墨田川 31－2 永福
富士 13－2 上野
国分寺 24－5 武蔵村山東
田無 12－11 東村山
井草 24－4 西
雪ヶ谷 16－2 園芸
清瀬 37－4 東京菅生
五商 8－5 武蔵
青学 19－8 江戸川
桐朋 31－6 砂川
文華女子 15－6 館
本所 14－2 目黒
明星学園 13－5 国立
日野 13－11 小平

大崎 10－6 学芸大付
東大和 10－4 農業
府中東 6－4 府中西
農大一 26－0 荻窪
小岩 18－6 八雲学院
日野台 15－5 共立第二
富士森 13－8 南野
三商 13－8 立教女子

▼3回戦
保谷 15－4 調布北
葛飾野 12－11 豊多摩
府中 12－5 武蔵野女
富士 13－2 上野
田無 8－4 国分寺
井草 13－8 雪ヶ谷
五商 14－8 清瀬
青学 20－5 広尾
文華女子 18－10 桐朋
本所 17－3 篠崎
明星学園 16－13 日野
大崎 8－4 白鴎
東大和 20－1 府中東
小岩 13－11 農大一
共立第二 9－8 富士森
日大二 14－3 三商

▼4回戦
保谷 11－5 葛飾野
府中 17－10 富士
田無 8－6 井草
青学 20－8 五商
文華女子 11－10 本所
明星学園 14－5 大崎
東大和 10－7 小岩
日野台 12－8 日大二

▼5回戦
佼成女子 19－2 保谷

府中 10－9 文大杉並
田無 9－8 菊華
藤村女子 13－7 青学
石神井 16－6 文華女子
日体桜華 17－9 明星学園
神代 12－10 東大和
江東商 23－11 日野台

▼準々決勝
佼成女子 37－8 府中
藤村女子 21－4 田無
日体桜華 14－13 石神井
2PTC1
江東商 28－8 神代

▼準決勝
佼成女子 28－16 藤村女子
日体桜華 16－15 江東商

▼3位決定戦
江東商 32－16 藤村女子

▼決勝
佼成女子 34（17－5、17－4）9 日体桜華

中国

国体鳥取県予選

〈少年男子〉（7月9、10日・境高校）

▼1回戦
境工 52－4 米東B
米東A 29－4 米北B

▼2回戦
境A 28－12 境工
米北 22－15 米西
米東西 16－8 境B
米東A 18－16 倉工

▼準決勝
境A 28－11 米北
米東西 30－9 米東A
▼決勝
境A 19（9－5、10－7）12 米東西

〈少年女子〉
▼1回戦
米東 26－8 米南商
米北 キケン 倉東
▼2回戦
境高 32－11 米東
NSC 32－8 米北
▼決勝
境高 22（8－4、14－0）4 NSC

〈成年男子〉
米子北OG 14（6－7、8－6）13 境港クラブ

四国

高松市中学校総体

（7月21日、22日・光洋中学校）

〈男子〉
▼1回戦
古高松 26－13 香東
山田 21－15 桜町
木太 21－14 紫雲
光洋 20－13 玉藻
▼2回戦
古高松 22－18 山田
木太 19－10 光洋
▼決勝
古高松 14（5－3、6－8、1－1、2－0）12 木太

〈女子〉
▼1回戦
山田 20－4 龍雲
木太 16－4 光洋
香東 13－2 桜町
古高松 9－5 紫雲
▼2回戦
山田 31－6 木太
香東 12－5 古高松
▼決勝
山田 26（17－2、9－2）4 香東

香川県中学校総体

（7月25、26日・香東中学校）

〈男子〉
▼1回戦
勝賀 25－12 玉藻
光洋 20－18 山田
古高松 25－13 香東
紫雲 28－6 龍雲
▼2回戦
香川 36－9 勝賀
桜町 14－12 光洋
木太 15－13 古高松
綾南 26－15 紫雲
▼準決勝
香川 38－6 桜町
綾南 9－8 木太
▼決勝
香川 30（13－3、17－4）7 綾南

〈女子〉
▼1回戦
香東 20－11 桜町
紫雲 16－1 綾南
古高松 22－4 光洋
▼2回戦
山田 22－7 香東
木太 15－11 塩江
紫雲 16－13 龍雲
香川一 23－9 古高松
▼準決勝
山田 27－6 塩江
香川一 22－4 紫雲
▼決勝
山田 24（11－7、13－8）15 香川一

九州

第15回宮崎県高校総体

（6月5～7日／宮崎西高校）

〈男子〉
▼1回戦
都城西 16－14 小林
日南 19－16 西都商
▼2回戦
宮崎南 25－20 都城西
宮崎中央 28－10 日南工
都城工 28－11 延岡
宮崎工 13－11 小林工
宮崎第一 40－5 妻
都城商 33－6 日向工
泉ヶ丘 23－17 宮崎北
宮崎西 38－12 日南
▼3回戦
宮崎南 34－14 宮崎中央
宮崎工 18－10 都城工
宮崎第一 39－11 都城商
宮崎西 22－16 泉ヶ丘
▼準決勝
宮崎工 19－17 宮崎南
宮崎西 31－12 宮崎第一
▼決勝
宮崎西 22（9－7、13－12）19 宮崎工

〈女子〉
▼1回戦
本庄 28－6 宮崎女
泉ヶ丘 24－4 都城西
小林 42－9 妻
宮崎商 24－8 宮崎南
都城商 19－14 宮崎中央
延岡東 21－7 西都商
小林南 25－9 延岡商
▼2回戦
本庄 32－7 泉ヶ丘
小林 18－13 宮崎商
宮崎西 57－5 都城商
小林商 30－9 延岡東
▼準決勝
本庄 28－8 小林
小林商 19－15 宮崎西
▼決勝
本庄 19（10－4、9－8）12 小林商

第17回鹿児島県中学春季大会

（6月18、19日・国分市総合体育館）

〈男子〉
▼予選リーグ
国分A 11－7 鹿大附属
東谷山A 25－2 国分B
伊敷 23－6 東谷山B
重富 17－8 谷山
国分A 17－11 伊敷
鹿大附属 25－4 東谷山B
東谷山A 19－9 重富
谷山 14－6 国分B
▼準決勝
国分A 13－8 重富
東谷山A 13－10 鹿大附属
▼決勝
東谷山A 11（7－6、4－3）9 国分A

〈女子〉
▼リーグ戦
重富 15－7 谷山
鹿大附属 16－2 伊敷
重富 12－6 東谷山
谷山 15－15 伊敷
鹿大附属 9－3 東谷山
鹿大附属 19－1 谷山
東谷山 14－5 伊敷
鹿大附属 9－9 重富
東谷山 23－3 谷山
重富 14－4 伊敷
［順位］①鹿大附属②重富③東谷山

未来をみつめる健康テクノ

アシックス

がんばれ!ニッポン!

JAS 1005

アシックスは
オリンピックキャンペーンの
オフィシャルスポンサーです。

走る、跳ぶ、投げる。
制空権を得るためのスカイハンド®

より高い跳躍とより長い滞空時間。
よりコンパクトなテイクバックとスピーディなスローイング。
ここに至るには 地道な長い練習の日々と、勝負に臨んでの集中力と爆発力が必要である。
この日のために努力を重ねてきた選手たちに。
バイオメカニクスで育てられたウェアとシューズ。アシックスより送ります。

ASICS Handball Wear

ASICS Handball Shoes

●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談課までどうぞ。
〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 ☎(078)303-2233(専用)・(078)303-3333(大代表)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 ☎(03)624-1814(専用)・(03)624-2221(大代表)
■ Rは㈱アシックスの登録商標です。

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二七八号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和六十三年八月二十五日 印刷
昭和六十三年九月一日 発行
東京都渋谷 … 一ー一ー一
電話 代表 … 二三六一
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五拾円
(年間購読料 三千三百円)